

山梨地方労働審議会
第1回 電気機械器具製造業最低工賃専門部会

と き：令和5年2月9日
と ころ：山梨労働局1階大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 部会長選出及び部会長代理の指名
- 3 部会長あいさつ
- 4 議 事
 - (1) 電気機械器具製造業最低工賃改正に係る諮問及び専門部会委員の指名について
 - (2) 部会の運営等について
 - (3) 意見聴取結果について
 - (4) 最低工賃の改正額等について(改正審議)
 - (5) その他
- 5 閉 会

第1回 最低工賃専門部会 配席表 (2/9)

山梨労働局1階大会議室

今 八 高
井 卷 橋
委 委 委
員 員 員

公益委員

三 輪 委 員
小 林 委 員
白 倉 委 員

労働者側委員

使用者側委員

保 坂 委 員
佐 藤 委 員
峯 岸 委 員

事務局

井 岡 平
上 村 出
賃 勞 室
金 働 長
室 基 補
長 準 佐

出入口

山梨地方労働審議会 最低工賃専門部会委員名簿

令和4年11月7日指名

委員 定数 9人	公益を代表する委員 3名	
	家内労働者を代表する委員 3名	
	委託者を代表する委員 3名	
氏 名 職 名 等		
【公益を代表する委員】		
(本)	やまき さちこ 八巻 佐知子	八巻法律事務所 弁護士
(臨)	いまい こういち 今井 幸一	山梨県納税貯蓄組合総連合会 専務理事
(臨)	たかはし てつや 高橋 哲也	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 山梨支部 山梨職業能力開発促進センター 訓練課長
【家内労働者を代表する委員】		
(本)	みわ しげき 三輪 茂樹	日本労働組合総連合会山梨県連合会 副会長 電機連合山梨地方協議会 議長
(臨)	こばやし さかし 小林 賢	電機連合山梨地方協議会 事務局長
(臨)	しらくら のりひと 白倉 範人	日本労働組合総連合会山梨県連合会 副事務局長
【委託者を代表する委員】		
(本)	ほさか まさひろ 保坂 雅寛	飯田鉄工株式会社 常務取締役
(臨)	さとう もとあき 佐藤 元章	株式会社昭栄精機 代表取締役社長
(臨)	みねざし いちろう 峯岸 一郎	株式会社峰岸商会 取締役社長 山梨県機械電子工業会 理事

本審・臨時の順及び50音順

山梨地方労働審議会
審議資料

令和4年度第1回最低工賃専門部会
(山梨県電気機械器具製造業最低工賃)

令和5年2月9日

令和4年度第1回最低工賃専門部会（電気機械器具製造業最低工賃）

配付資料目次

1	山梨県電気機械器具製造業最低工賃改正諮問文（写）	1
2	家内労働関係の審議会の運営について	3
3	山梨県電気機械器具製造業最低工賃一覧表	5
4	関係者からの意見聴取結果について	9
5	作業工程別時間換算額の平均値一覧（参考）	21
6	委託者所在地と家内労働者住所の関係	23
7	山梨県電気機械器具製造業最低工賃の推移	25
8	山梨県最低工賃金額審議用参考事項	27
9	電気機械器具製造業最低工賃見直し年度における同最低工賃及び山梨県最低賃金・特定最低賃金の改正状況	29
10	山梨県鉱工業指数（令和4年11月分）	31
11	山梨中央銀行調査月報（抄）（2023年1月版）	57

写

山梨労発基 0113 第 1 号
令和 5 年 1 月 13 日

山梨地方労働審議会
会長 小澤 義彦 殿

山梨労働局長
生方 勝

山梨県電気機械器具製造業最低工賃の改正決定について（諮問）

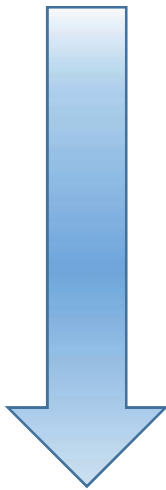
家内労働法（昭和 45 年法律第 60 号）第 10 条の規定に基づき、山梨県電気機械器具製造業最低工賃（令和 2 年山梨労働局最低工賃公示第 1 号）の改正決定について、貴会の調査審議をお願いする。

家内労働関係の審議会の運営について

家内労働部会(1月13日)

(電気機械器具製造業最低工賃の改正の必要性の有無について検討)

改正決定が必要との結論(本審への部会報告の作成)



(事務局)

改正諮問(1月13日):

本審を開催せずに会長に直接諮問

改正決定に係る意見公示(1月13日):

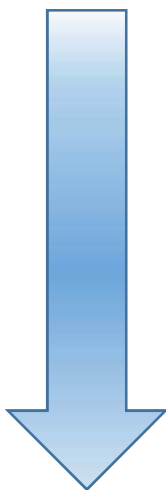
諮問後速やかに公示(公示期間2週間)

最低工賃専門部会(2月9日)

委員は家内労働部会と同一

第1回(追加資料説明、改正審議、結審、答申)

(結審時に部会報告を作成)



(事務局) 以下は目安・予定であり、実際の日は異なる場合があります。

答申内容に係る意見公示(2月9日予定)

答申日に公示、翌日から15日間(2月24日まで)

異議が申出がなされた場合は、地労審本審にて異議審を開催

以下は、異議申出がない場合を想定

官報公示(3月13日予定)

官報公示後30日経過後に発効

(法定発効4月12日予定)

それ以後の指定日発効とする場合は指定日に発効

結審以降に開催される山梨地方労働審議会(3月)
において部会報告

(報告書の提出)

山梨県電気機械器具製造業最低工賃

1 適用する家内労働者

山梨県内で、電気機械器具製造業に係る業務に従事する家内労働者

2 適用する委託者

前号の家内労働者に電気機械器具製造業に係る業務を委託する委託者

3 最低工賃額

下表のとおり

品 目	工 程		規 格	金 額
ビニル線	端末加工	より及び予備 はんだ付け	しん線の断面積が 0.3平方ミリメートル以上 2.0平方ミリメートル以下 のもの	54 銭 / 1か所
コイル	からげ 1か所につき、 4回以内からげて切るものに限る		線径0.3ミリメートル以上 1.2ミリメートル以下のもの	83 銭 / 1か所
コネクター	差 し リード線の端末に取り付けら れた端子をコネクターに差し 込むことをいう			51 銭 / 1端子

4 効力発生の日

令和2年12月30日

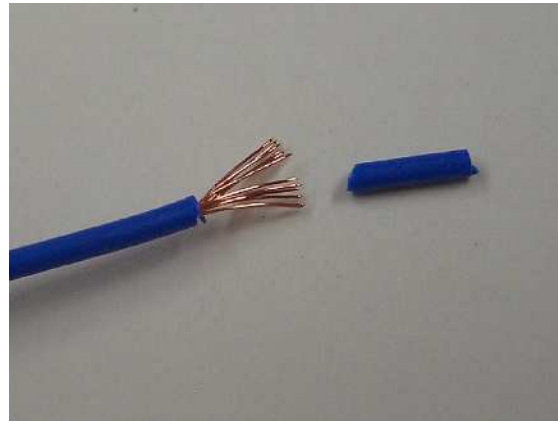
山梨県電気機械器具製造業最低工賃

ビニル線工程

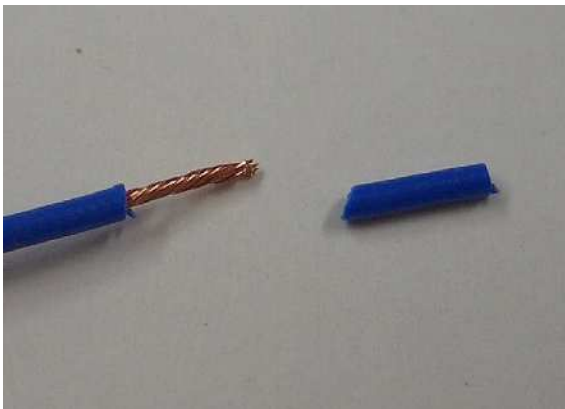
1 ビニル線の被覆をむく



2 しん線がばらける



3 ばらけたしん線をよる



4 予備はんだ付け



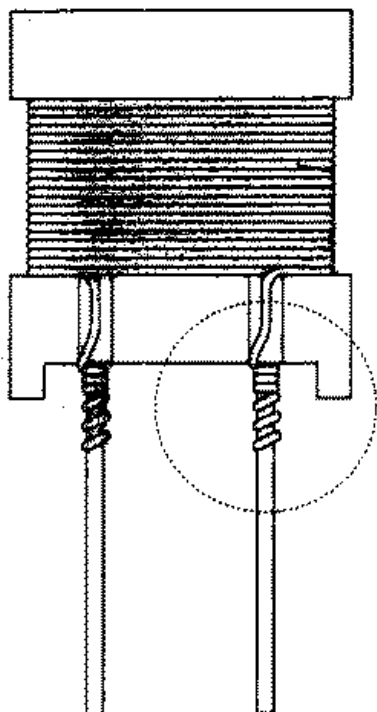
5 予備はんだ付けされたビニル線



下線部が最低工賃の該当工程

山梨県電気機械器具製造業最低工賃

コイル工程

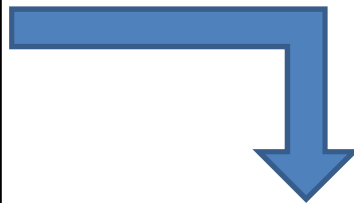


銅線の両端（コイルの巻き始めと巻き終わり）を、足の部分に線をからげる工程。

山梨県電気機械器具製造業最低工賃

コネクター工程

1 端子が取り付けられているリード線の端末



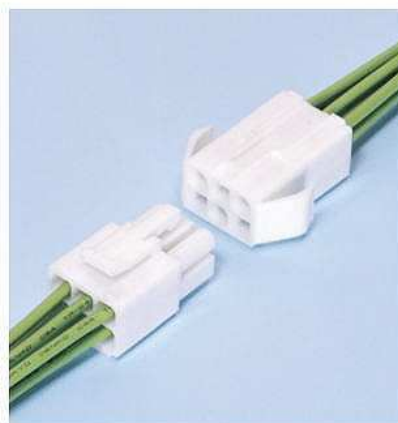
2 端子をコネクターに差し込む



3 コネクターの部品



4 コネクターの利用方法



下線部が最低工賃の該当工程

関係者からの意見聴取結果について

(電気機械器具製造業最低工賃)

1 意見聴取対象者について

1.1 委託者

家内労働実態調査結果において、最低工賃が設定されている業務を委託していると回答した委託者のうち8社に対して実施（ビニル線2社、コイル1社、コネクター7社 重複あり）

1.2 家内労働者

家内労働実態調査において、最低工賃が設定されている業務を受託していると回答した家内労働者のうち5名に対して実施（上記8社のうちの3社から受託している者。ビニル線1名、コイル0名、コネクター5名 重複あり。）

2 委託者からの意見聴取結果

2.1 主要生産または取扱品目及び委託内容

主要生産品目等		委託内容
A社	産業機械用ワイヤーハーネス	より及び予備はんだ、コネクター差し
B社	ワイヤーハーネス加工	より及び予備はんだ、コネクター差し
C社	小型トランス製造	コイルからげ、巻線、コア詰め
D社	コネクター組み立て、電子部品プレス加工	コネクター差し
E社	産業用機械のワイヤーハーネス製造	コネクター差し
F社	産業用機械のワイヤーハーネス製造	被覆はぎ、コネクター差し、袋詰め等
G社	ワイヤーハーネス製造	コネクター差し、コネクター圧接、シールドケーブル端末処理、LANケーブル製作
H社	ワイヤーハーネス製造	コネクター差し、電気検査

2.2 現在の景況・生産状況

- A社 今までは忙しかったが、今後は生産調整されると聞いているので、減少すると考えている。
- B社 一時のピークに比べると落ち着いてきている。
- C社 仕事はある。材料がないためストップしたりしている状態。
- D社 今のところは忙しい。今後、生産調整されるような話も聞いているので、落ち着くと思う。
- E社 現在は落ち着いている。材料が入ってこない。
- F社 一時期より落ち着いてきている。受注には波がある。
- G社 昨年未ごろから落ち着いてきている。今後も落ち着いているのではないかなと思うが、この業種は波があるので。
- H社 できる範囲の仕事を請けてやっている。

2.3 業界を取り巻く状況（家内労働に関する事項）

- A社 よくわからない。
- B社 材料不足のため、納期が短くなる。
- C社 仕事はある。
- D社 家内労働者への委託が増加しているということはない。いつも同じようなレベルでお願いしている。
- E社 昔は大量生産だったので家内労働者もたくさんいたと思うが、現在は小ロットのため家内労働者は減っているのではないかな。当社では、まとまった受注があるので、一定程度内職に仕事を出している。
- F社 よその状況はよくわからない。
- G社 ほかの会社がどのように家内労働者に委託しているのかわからないので、流れ等はわからない。
- H社 材料が入ってこないと仕事がなくなるが、材料が入ってくると忙しくなる。

2.4 委託先件数（家内労働者数）

- A社 （内職）男4、女27
- B社 （専業）男1（内職）女15（副業）男1
- C社 （専業）男1（内職）女3（補助者）女3
- D社 （内職）女6
- E社 （内職）男1、女9
- F社 （内職）男3、女15（副業）女2
- G社 （内職）女1（副業）男6
- H社 （内職）女3

2.5 委託業務の設定工賃額

A社	より及びはんだ 0.8 円、コネクタ-差し 0.6 円
B社	より及びはんだ 0.8 円、コネクタ-差し 0.6 円
C社	コイルからげ 最低額 0.83 円 (コイルの足は最大 13 本)、最高額 1 円 (抵抗にからげる)
D社	コネクタ-差し 単に差せばよいものは 0.96 円、コネクタ-が弱いものなどは、箱に並べてもらって納品してもらうが、このようなものは単価が上がる
E社	コネクタ-差し 1 ピンあたり 0.66 円 (18 ピンで 12 円)
F社	コネクタ-差し 1 ピン 1 円以上、コネクタ-の形状、差せるピン数、ピニ-ル線の太さ等により 1 円を超えるものも複数ある
G社	コネクタ-差し すべて 4 円。コネクタ-は 4 ピンくらいから 30 ピンくらいまであるが、コネクタ-の種類が多いので、それぞれ単価を決めることが困難。よって、すべて 4 円と設定している。そのため、4 ピンでも 30 ピンもあるようなコネクタ-の差も 1 ピン 4 円。なお、30 ピンくらいのものは図面を見ながら順番に差していく必要がある。
H社	コネクタ-差し 1 円

2.6 工賃を設定する際の基準

A社	もともと、自社での製作等により時間当たりの単価を決めて、その金額を、その都度上げている。電気使用量が何百ワットの機械を使っている者もいるので、その者には電気代を上乗せしている。なお、はんだポットは消費電力が 10 数ワットなので考えていない。
B社	会社の基準で行っている。基準は会社の上層で決めている。
C社	
D社	納入価格や利益から算出。最低工賃も参考としている。
E社	自社でやってみた基準をもとに算出している。家内労働者の能率の平均で時間当たり 700 円くらいにはなっていると思う。家内労働者の中には、当社のパート従業員よりも稼ぐ者がおり、中には、かなり能率の低い者もいるので、平均して 700 円くらい。
F社	大体 1 時間作業をして、750 円から 800 円くらいにはなるように考えて設定している。従業員の賃金を超えてはいけな-いので、大体それくらいで考えている。家内労働者に品物を取りに来てもらって、持ってきてもらっている-ので、距離に応じて交通費を支給している。
G社	1 時間でできる量を基準にはしているが、コネクタ-の種類が多すぎるので、4 ピン程度から 30 ピン程度までの平均をとって 4 円としている。また、社内でもコネクタ-差しはやっているが、注文数が多いので、家内労働

働者にやってもらっているという気持ちで、少しでも良くしたいと思って工賃を決めている。

H社 仕事を請け負う時の単価によって決めている。それ以上支払うと赤字になる。

2.7 工賃の改定状況（令和元年度以降）

A社 なし

B社 R4年7月 +27%

C社 からげ +7.8%

D社 なし

E社 なし

F社 なし

G社 なし

H社 なし

2.8 委託業務に係る歩留まり（どの程度不良品が発生するか）

A社 1～2% 多い時には10%程度になることもある。直しは自社で行っている。

B社 より及びはんだ 0.5%、コネクタ 1.3%

C社 からげ 3%

D社 0.02%

E社 だいたい1～2%

F社 ほとんど発生しない

G社 3～5%

H社 30%くらい（差し間違い） 不良品は自社でやり直すので、たくさん出ると納期に影響が出る。

2.9 家内労働者に対する機械・工具等の貸与状況

A社 はんだポット

B社 作業によって貸しているものもあるが、不要になった場合には返してもらっている。

C社 なし

D社 なし

E社 なし

F社 家内労働を始めるにあたって必要なものはすべて貸与している（はさみ、ニッパー、指金など）

G社	なし
H社	電気検査用機器

2.10 家内労働者への委託量の変化（3年前と比較、また、今後の見込み）

A社	3年前比で増加。今後は調整に入っているため減少するだろう。
B社	3年前比で増加。今後増やしたい。 （家内労働者の募集方法）元従業員、従業員の家族。元従業員の場合、社員としてやっている時より稼いでいる者もいる。
C社	3年前と変わらない。今後は家内労働者を増やしたい。 （家内労働者の募集方法）社員の紹介など
D社	3年前比で減少。今後は増やしたい。 （家内労働者の募集方法）口コミが多い
E社	3年前比で増加。今後は変わらない。
F社	変わらない。現状では落ち着いており、仕事の量に波があるため、大幅に忙しくなることはないのではないかと考えている。
G社	3年前比で変わらない。今後は、このままでよいと思っている。
H社	3年前比で変わらない。今後、家内労働者を増やしたいが、やる人がいないので増えない。 （家内労働者の募集方法）人づてで探している。

2.11 家内労働者によって作業能率は異なるか。どのような理由があるか。

A社	異なる。（理由）経験等。家内労働者のできる範囲で仕事をしてもらっている。
B社	同じものを出すと、家内労働者内で誰がいくら委託されたとかで、不満が出るといけないので、同じものを複数の家内労働者に出すことはしていない。
C社	異なるが、毎日家内労働者宅を回っている従業員がおり、その者が行くまでに終了していればよいという方法でやっているため、作業能率は考えていない。
D社	異なる。ただ、家内労働者ができる範囲での仕事しか委託していない。できなければ、できない分をほかの家内労働者に回しているため影響はない。（理由）経験や向き不向き
E社	異なる。（理由）経験年数や向き不向き

F社	異なる。(理由)経験年数や年齢によって異なる。また、作業ができる時間帯によっても異なると考えている。家内労働者の能率などを見ながら、できる品物を委託している。
G社	異なる。家内労働者には経験があったほうが良いので、知り合い等に頼んで経験者を探して委託している。(理由)経験など
H社	異なる。(理由)経験だけでなく、その人の向き不向きであると思っている。

2.12 現状の最低工賃設定業務に係る意見(不要なもの、追加すべきものなど)

最低工賃が引き上げられた場合、内製化や県外・国外への委託先の変更などを検討する一因となるか。

内製化を検討するとした場合、検討にきっかけとなる場合の引上げ額、引上げ率等は。

工賃設定業務に関する意見(不要なもの、追加すべきもの)

A社	最低工賃が上がれば、親会社に値上げをお願いする。現在より低い価格で作れない。また、国で定めている最低工賃が上がったことが理由であれば、親会社も納得してくれるのではないかと思う。 なし
B社	ならない。家内労働者のパワーが大きい。家内労働者へ仕事を委託していることで製品のトータルの見込みが立つ。 - なし
C社	ならない。内製化はしない。最低工賃が上がることは仕方がない。親会社に言って単価を上げてもらうことになる。 - なし
D社	現状では不明。工賃の上げ幅にもよるが、考えることになるかもしれない。 現在は何とも言えない。 なし
E社	検討することになるかもしれないが、上げ幅にもよるので何とも言えない。 納品先の単価にもよるので、一概には言えない。 なし

F社	<p>ならない。最低賃金が上がり続けるので、最低工賃が上がったとしても内製化すると利益が出ないため。</p> <p>現状では内製化するつもりはないので、わからない。</p> <p>なし</p>
G社	<p>ならない。社内でもハーネスの加工は行っているが、やりきれないため家内労働者に委託している。</p> <p>-</p> <p>なし</p>
H社	<p>ならない。従業員の賃金単価のほうが高いので、内製化すると会社がつぶれるから。</p> <p>-</p> <p>なし</p>

2.13 最低工賃制度または最低工賃額に対する意見

A社	特になし
B社	特になし
C社	特になし
D社	特になし
E社	特にない。当社は、ほかの所より高い工賃を支払っていると思う。家内労働者からの不満も聞いていないので、このまま続けたいと思っている。
F社	現在の最低工賃額は安いと思っている。家内労働者がもう少し稼げるような金額設定にしたほうが良いと思う。
G社	コネクタの種類が多いこと、やってもらっていると考えていること、家内労働者のやる気の問題もあり、工賃を上げている。
H社	一番下の、うちのような会社には最低工賃の値上げは厳しい。上げるのであれば、上の会社からの単価を上げてほしい。

3 家内労働者からの意見聴取結果

3.1 受託内容（家内労働の作業内容）・経験年数

	受託内容	経験年数
a	ビニル線カット、被覆はぎ、より、予備はんだ、端子圧着、コネクタ差しを一連の作業として請けている。その他、筐体への配線も行っている。小さいものは自宅、大きいものは会社の場所を借りてやっている。	18年

b	コネクタ差し（後工程あり。線の結束等、ヒートガンは使わない。）	10年以上
c	被覆はぎ、コネクタ差し	30年以上
d	コネクタ差し、シール貼り	2年
e	コネクタ差し、ビニル線のツイスト、ビニル線の結束	7年

3.2 所有機械工具・貸与されている機械工具

	所有機械・工具	貸与されている機械・工具
a	ドライバー、ニッパー、圧着ペンチ、ストリッパー（手動）、はんだ槽	空気圧のストリッパー
b	なし	なし
c	なし	ストリッパー
d	なし	なし
e	ニッパー	ツイストの機械

3.3 1日及び1か月あたりの作業時間

a	1日7～8時間 月16～20日
b	仕事があれば1日5時間くらい、月に10日くらい（いつも仕事があるわけではないので、相当忙しくてこれくらい。また、あまりたくさん仕事をすることもないので、この程度）
c	1日2～5時間 月16～20日 仕事があればもう少し時間等は長くなると思う。
d	1日2～5時間くらい 月6～10日くらい 今は部品が入らなかつたりするので仕事がまばら。
e	1日5～7時間 月16～20日 内職なので、家事等の合間でやっている。

3.4 最低工賃設定業務に係る時間当たりの作業量・1か月あたりの工賃収入金額

作業量

近年、同じ作業で材料や仕様が変更されたことの有無

あった場合、作業の難易度の変化や工賃への反映の有無等

	時間当たりの作業量等	1か月当たり工賃収入金額
a	ビニル線：100か所、コネクタ：100端子 有 有（請ける際、単価が合わなければ）	令和4年は忙しかつたので、月60万円くらいあった。

	ば交渉して上げてもらう。合うような単価まで上げてくれない場合は、お断りしている。)	
b	コネクタ：10 端子 なし -	だいたい2万円くらい
c	コネクタ：1000 端子 なし -	2万円弱くらい
d	コネクタ：150 端子 なし -	2万円くらい
e	コネクタ：700 端子 なし - (工賃は作業の難易度で決まっている。)	2～3万円

3.5 内職に係る経費

材料の提供場所、納品場所は

委託者事務所等の場合、ガソリン代等の経費は

電気代の値上げの影響はあるか

昨年と一昨年の差は把握しているか

電気代値上げによる工賃の改定は

a	自分が委託者の事務所へ行っている もろもろの経費込みで単価を決めている。交渉すべき時は交渉している。 有 把握していない 電気代の値上げも含めてだと思いが、全体の単価を上げてもらった。
b	家内労働者の自宅 - なし(電気を使う機器を使っていない。また、自宅にいと照明もつけているので気にしていない。) - -
c	家内労働者の自宅 - なし(ヒートガンを使っているわけではないので、特に気にしていない。) - -
d	家内労働者の自宅(娘が委託者である会社で勤務しているので、仕事があると持って帰ってきてくれる。) - なし(機械を使っていないので気にしていない。家にいても照明をつけてこたつを使っている。)

	-
	-
e	家内労働者の自宅 - 多少はあると思う わからない ないと思う

3.6 工賃の改定状況（令和元年度以降）

a	令和4年に改定
b	なし
c	なし
d	なし
e	多少は上げてもらっていると思う。

3.7 受託量（作業量）の変化（令和元年度以降）

a	増えた 令和4年は忙しかったが、今は落ち着いている。今年の前半などは普通より落ちると思っている。しかし、今年の終わりごろにはまた忙しくなると考えている。
b	変わらない 少しずつ仕事をもらってやっているため。
c	変わらない
d	減少した 材料が入らないため。材料が入らなくて仕事がないときは、内職の仕事は会社の従業員がやっているから、内職には仕事は回ってこない。
e	増えたり減ったりしている 委託者からの注文に波があるため

3.8 現在の最低工賃設定業務・最低工賃額に対する意見

	最低工賃設定業務に対する意見	最低工賃額に対する意見
a	なし	なし
b	なし	特になし（工賃は上がればよいとは思っている。）
c	なし	単価が安いと思う。
d	なし	なし
e	なし	上げてもらえれば収入が増えるのでうれしい。

3.9 最低工賃制度に対する意見

-
- | | |
|---|---|
| a | なし |
| b | 特になし |
| c | 特になし |
| d | 特になし（仕事があると忙しくて、仕事が入らなければ暇になるというのが内職ではないでしょうか。） |
| e | 特になし |
-

最低工賃が設定されている作業工程別の時間換算額の平均値一覧（参考）

（ R 4 家内労働実態調査及び意見聴取結果 ）

品目		時間換算額平均値	
ビニル線		¥416.2	
設定工賃	時間当たり加工数	時間換算額	平均的な不良品の発生割合(%)
6	40	¥240	5
9.17	10	¥92	0
9.17	100	¥917	0.01

品目		時間換算額平均値	
コイル		¥500.0	
設定工賃	時間当たり加工数	時間換算額	平均的な不良品の発生割合(%)
5	100	¥500	0
5	100	¥500	0

品目		時間換算額平均値	
コネクター		¥358.6	
設定工賃	時間当たり加工数	時間換算額	平均的な不良品の発生割合(%)
0.66	700	¥462	0.02
0.66	100	¥66	0
12	30	¥360	-
0.63	20	¥13	10
0.63	30	¥19	2
0.63	20	¥13	-
0.9	350	¥315	1
5.5	200	¥1,100	0.1
5.5	30	¥165	1
5.5	100	¥550	0.01
5.5	64	¥352	0.1
2	50	¥100	-
2	400	¥800	0
1	10	¥10	3
1	150	¥150	-
1	1000	¥1,000	0.01
1	120	¥120	0
1	240	¥240	1
1.4	700	¥980	-

家内労働実態調査において、家内労働者から回答のあった各作業工程に係る時間当たりの加工数と、委託者から回答のあった各作業工程の最低の設定工賃を基に、各家内労働者の当該作業工程における1時間当たりの工賃額（時間換算額）を算出した上で、その平均値を算出した。

委託者所在地と家内労働者住所の関係(電気機械器具製造業)

委託者	家内労働者数	甲府市	甲州市	韮崎市	南アルプス市	甲斐市	笛吹市	北社市	山梨市	中央市	昭和町	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	富士河口湖町	西桂町	忍野村	市川三郷町	富士川町	身延町	神奈川県
甲府市	3	1			1						1											
甲府市	2					2																
甲州市	4		3						1													
韮崎市	2			2																		
韮崎市	7	1		1	2	1		2														
韮崎市	17	3		6	2	3		2											1			
南アルプス市	10	1		1	5	2	1															
南アルプス市	3				3																	
南アルプス市	6	1		1	3	1																
南アルプス市	7	1		1	2	1				2	1											
北社市	1							1														
北社市	2							2														
山梨市	6						2		4													
中央市	1																					
中央市	3									2												
富士吉田市	4											2	2									
富士吉田市	18											13	1			2		1				
富士吉田市	2											2										
都留市	2						1						1									
都留市	19											1	12	2								
大月市	1															1						
上野原	6														6							
上野原市	13														12							1
富士河口湖町	1												1									
西桂町	9											1	3				5					
西桂町	14											4	6				3	1				
忍野村	3											1						2				
富士川町	4				2																2	
身延町	8				1														3	1	3	
家内労働者数合計	178																					

山梨県電気機械器具製造業最低工賃の推移

品目		工程	規格	改正年月													
				7年度 H08.02	10年度 H11.02	13年度 H14.04	16年度 H17.02	H19年度	H22年度	H25年度	H28年度 H29.05	R02年度	R04年度				
プリント基板	部品(集積回路を除く。)の取り付け	差し	2本のリード線について行うもの	58銭	62銭	64銭	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		差し及び曲げ		87銭	93銭	93銭											
		差し、曲げ及び切り		1円21銭	1円29銭	1円32銭											
プリント基板	所定の箇所に載せてはんだ付け	差し	両端について行うもの	1円42銭	1円51銭	1円55銭	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		差し		1円40銭	1円49銭	1円49銭											
		被覆はざ		38銭	41銭	46銭											
ビニル線	端末加工(手工具を用いて行うものに限る。)	被覆はざ	しん線の断面積が0.3mm ² 以上2.0mm ² 以下のものであって、1行程で被覆はざが行えるもの)	77銭	82銭	82銭	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		被覆はざ、より及び予備はんだ付け		-	-	-											
		より及び予備はんだ付け		65銭	69銭	71銭											
コイル	からげ(1か所につき、4回以内かららげて切るものに限る。)	線径0.3mm以下 上1.2mm以下のもの	8.3%	6.2%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
コネクタ	差し(リード線の端末に取り付けられた端子をコネクタに差し込むことをいう。)		9.1%	8.3%	2.6%	7.5%	見送り	見送り	見送り	見送り	見送り	見送り	見送り	見送り	見送り	見送り	見送り

山梨県最低工賃金額審議用参考事項

山梨労働局

	工程	規格	現行最低工賃額	支払工賃額の現状 (R4実態調査・意見 聴取による)		令和2年以降の 山梨県最低賃金 上昇率等		令和2年以降の 山梨県特定最低賃金 (電気)上昇率等		他県の類似最低工賃 設定金額	
				最低額	最高額	上昇率	上昇率から計算した最低工賃の金額	上昇率	上昇率から計算した最低工賃の金額	県名	工賃設定額
ビニル線	端末加工 (より及び予備は んだ付け)	しん線の断面積が 0.3平方ミリメートル 以上2.0平方ミリ メートル以下のもの	54銭 (1か所当 たり)	80銭 (1か所当 たり)	9円17銭 (1か所当 たり)	7.29%	57.9銭	56.7銭	5.04%	50銭 (1か所当 たり)	
コイル	からげ (1か所につき、4 回以内かららげで切 るもの)	線径0.3ミリメートル 以上1.2ミリメートル 以下のもの	83銭 (1か所当 たり)	83銭 (1か所当 たり)	1円 (1か所当 たり)	7.29%	89.1銭	87.2銭	5.04%	1円84銭 (1個あたり)	
コネクター	差し (リード線の端末に 取り付けられた端 子をコネクターに 差し込むことをい う)		51銭 (1端子当 たり)	60銭 (1端子当 たり)	5円50銭 (1か所当 たり)	7.29%	54.7銭	53.6銭	5.04%	41銭 (1ピン当 たり)	
										58銭 (1か所当 たり)	

**電気機械器具製造業最低工賃見直し年度における
同最低工賃及び山梨県最低賃金・特定最低賃金の改正状況**

	16年度	19年度	22年度	25年度	28年度	2年度	4年度
最低 工賃額 (銭)	ビニル線	46			50	54	
	コイル	71	改正 見送り	改正 見送り	77	83	
	コネクタ	43			47	51	
山梨県最低賃金額 (円)	648	665	689	706	759	838	898
引上げ率(R2年度比)	-	-	-	-	-	-	7.2%
引上げ率(28年度比)	-	-	-	-	-	10.4%	18.3%
引上げ率(16年度比)	-	2.6%	6.3%	9.0%	17.1%	29.3%	38.6%
電気機械器具等最低賃金額(円)	754	770	789	806	851	914	959
引上げ率(R2年度比)	-	-	-	-	-	-	4.9%
引上げ率(28年度比)	-	-	-	-	-	7.4%	12.7%
引上げ率(16年度比)	-	2.1%	4.6%	6.9%	12.9%	21.2%	27.2%



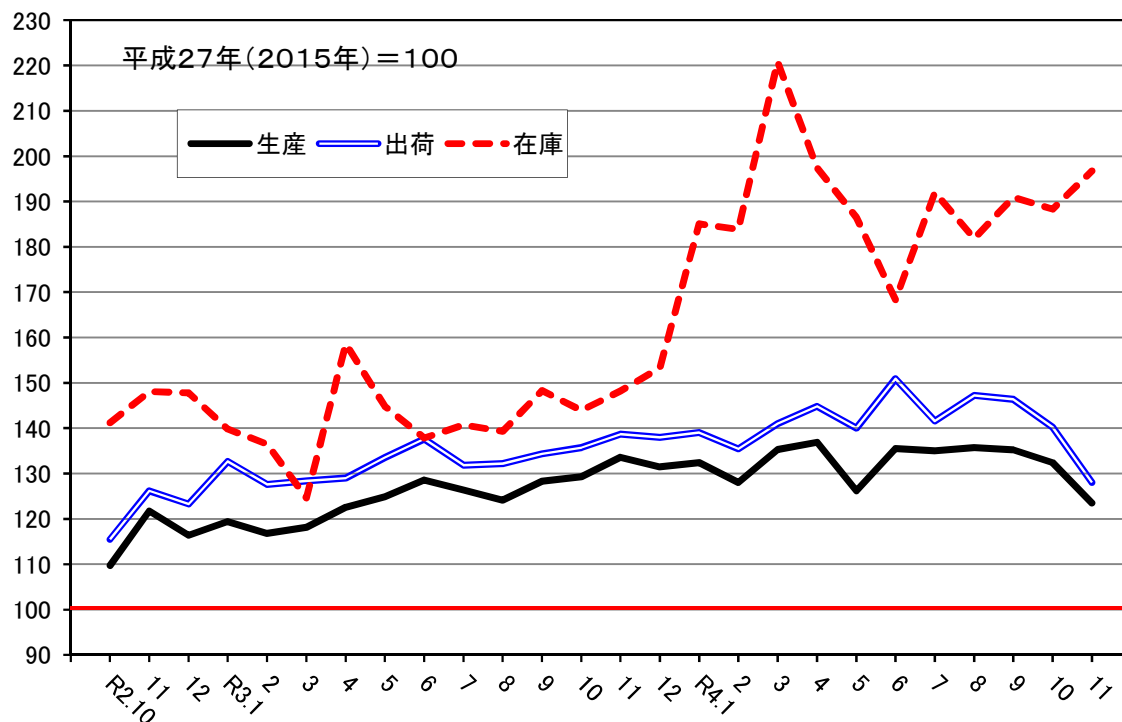
山 梨 県 鉱 工 業 指 数

令和4年（2022年）11月分

平成27年（2015年）基準

～生産が前月比△6.7%の低下、出荷が△8.7%の低下、在庫が4.5%の上昇～

生産・出荷・在庫の推移(季節調整済指数)



山梨県 県民生活部 統計調査課

< 問い合わせ先 >

調査第二担当

電話 : 055-223-1345

FAX : 055-223-1347

E-Mail : toukei@pref.yamanashi.lg.jp

HP : https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/index.html

目 次

1 当月の概況	1
(1) 生産の動向	2
(2) 出荷の動向	6
(3) 在庫の動向	8
2 特殊分類の推移	9
3 全国との比較	10
○ 統計表	
生産指数(業種分類)	12
出荷指数(業種分類)	14
在庫指数(業種分類)	16
生産指数(特殊分類)	18
出荷指数(特殊分類)	19
在庫指数(特殊分類)	20
〈参考〉 四半期データの推移	21
○ 利用にあたって	22

1. 当月の概況

平成27年(2015年) = 100

区 分		季節調整済 指 数	前 月 比 (%)	原 指 数	前 年 同 月 比 (%)
鋳 工 業	生 産	123.5	△ 6.7	126.6	△ 7.6
	出 荷	128.0	△ 8.7	133.3	△ 7.7
	在 庫	196.7	4.5	208.6	32.7

※季節調整済指数とは、原指数から景気の動向とは関係ない季節的変動要素を調整した指数。

※前月比は、季節調整済指数を使用し、前年同月比は、原指数を使用して計算している。

生 産・・・123.5で前月比△6.7%の低下、前年同月比△7.6%の低下

前月比は3か月連続の低下、前年同月比は26か月ぶりの低下

出 荷・・・128.0で前月比△8.7%の低下、前年同月比△7.7%の低下

前月比は3か月連続の低下、前年同月比は26か月ぶりの低下

在 庫・・・196.7で前月比4.5%の上昇、前年同月比32.7%の上昇

前月比は2か月ぶりの上昇、前年同月比は20か月連続の上昇

○全国の鋳工業指数

平成27年(2015年) = 100

区 分		季節調整済 指 数	前 月 比 (%)	原 指 数	前 年 同 月 比 (%)
鋳 工 業	生 産	95.5	0.2	99.0	△ 0.9
	出 荷	93.4	△ 0.1	96.6	△ 0.5
	在 庫	103.6	0.3	104.4	3.8

※経済産業省：鋳工業指数（生産・出荷・在庫指数）確報

(1) 生産の動向

生産指数は123.5で前月比△6.7%の低下、前年同月比△7.6%の低下

業種別にみると、食料品工業、業務用機械工業、繊維工業等の6業種が上昇し、電気機械工業、生産用機械工業、金属製品工業等の9業種が低下した。

(秘匿を除く)

○上昇した主な業種

業種	前月比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
食料品工業	2.7	0.45	清涼飲料製造業 パン製造業 など
業務用機械工業	16.8	0.36	サービス用機械器具製造業 医療用機器製造業
繊維工業	11.6	0.13	絹・人絹織物業 寝具製造業 など

○低下した主な業種

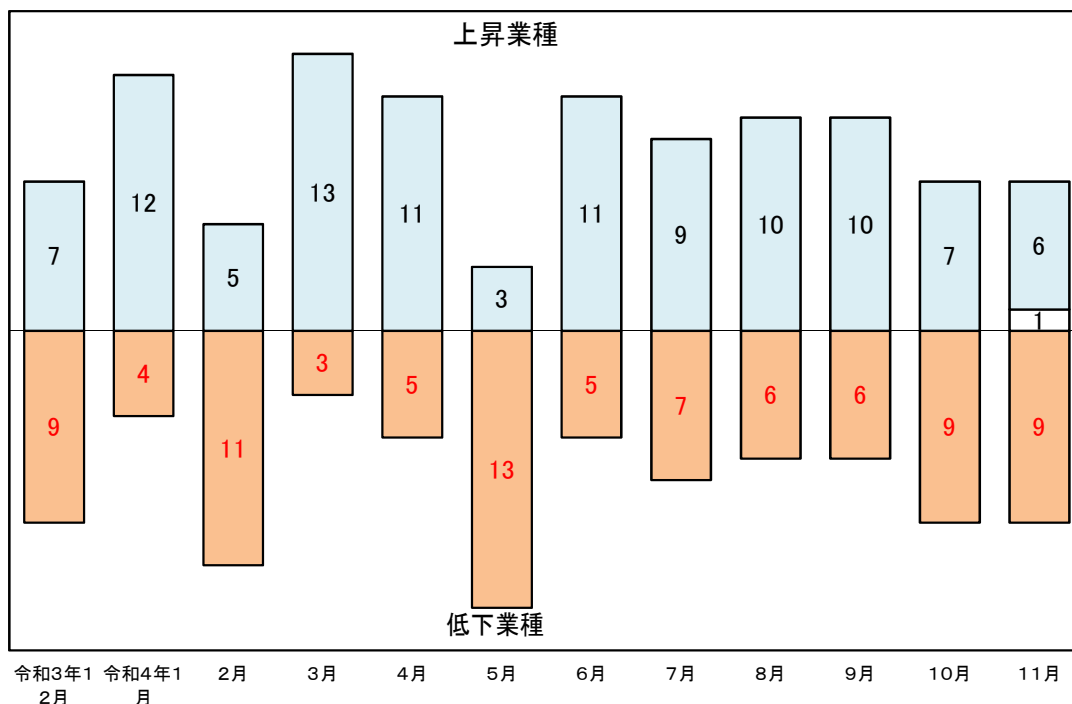
業種	前月比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
電気機械工業	△ 15.1	△ 2.96	発電器・電動機製造業 電気計測器製造業 など
生産用機械工業	△ 10.0	△ 2.94	プラスチック加工機械製造業 ロボット製造業 など
金属製品工業	△ 18.8	△ 0.62	建築用金属製品製造業 製缶板金業 など

◎対前月比の動向(生産)

業種	令和3年	令和4年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
鉄鋼業	△ 3.3	1.8	△ 1.1	12.2	11.3	△ 16.1	3.4	10.5	△ 6.0	10.1	△ 2.8	△ 16.8
非鉄金属工業	△ 2.7	9.1	△ 8.0	3.4	5.9	△ 20.7	14.5	△ 6.3	3.5	2.6	9.8	0.0
金属製品工業	△ 3.3	4.4	1.7	10.2	△ 9.9	△ 4.4	△ 7.9	△ 29.9	△ 10.2	4.6	△ 2.3	△ 18.8
汎用機械工業	△ 2.1	△ 6.2	6.6	6.1	△ 2.4	△ 15.4	15.3	0.3	4.9	△ 5.1	2.6	1.4
業務用機械工業	△ 7.5	△ 3.7	△ 1.4	10.9	△ 36.0	22.0	△ 11.3	19.8	38.6	△ 26.4	6.8	16.8
生産用機械工業	△ 1.5	0.1	△ 3.2	0.4	6.5	△ 3.7	9.9	3.2	0.1	△ 3.3	△ 2.7	△ 10.0
電子部品・デバイス工業	△ 4.6	4.2	△ 4.7	7.9	1.4	△ 12.1	16.8	△ 29.0	4.4	3.3	△ 9.1	△ 1.8
電気機械工業	1.1	△ 2.9	△ 11.9	21.0	0.3	△ 28.0	28.1	12.2	4.4	△ 4.1	△ 2.5	△ 15.1
情報通信機械工業	5.8	12.5	△ 15.6	5.9	19.6	△ 15.4	10.4	7.9	6.3	0.9	△ 4.1	△ 12.4
輸送機械工業	4.8	2.0	△ 14.5	18.9	2.7	△ 3.0	0.7	16.1	△ 4.2	△ 7.6	6.2	△ 4.7
窯業・土石製品工業	△ 1.4	7.1	△ 16.0	12.5	14.8	△ 12.2	26.4	0.8	2.2	△ 11.3	4.8	△ 9.8
プラスチック製品工業	△ 6.5	3.9	7.0	13.0	△ 15.2	△ 11.2	12.3	2.5	△ 11.9	8.6	△ 6.9	3.2
紙・紙加工品工業	8.9	8.7	△ 2.0	△ 2.3	5.9	△ 1.9	△ 1.4	△ 6.4	2.4	2.6	△ 10.0	6.7
繊維工業	3.4	7.5	△ 12.5	△ 4.3	7.4	2.6	△ 4.1	△ 8.2	6.0	5.1	2.3	11.6
食料品工業	1.8	0.8	2.9	△ 7.8	△ 2.1	△ 0.1	7.9	△ 2.3	△ 0.7	1.2	9.4	2.7
その他製品工業	13.9	△ 12.4	8.2	0.5	28.3	5.0	△ 10.8	△ 21.9	△ 10.8	5.7	△ 4.6	△ 20.9
前月比上昇の業種数	7	12	5	13	11	3	11	9	10	10	7	6
前月比低下の業種数	9	4	11	3	5	13	5	7	6	6	9	9
前月比横ばいの業種数												1

○上昇業種数・低下業種数の状況

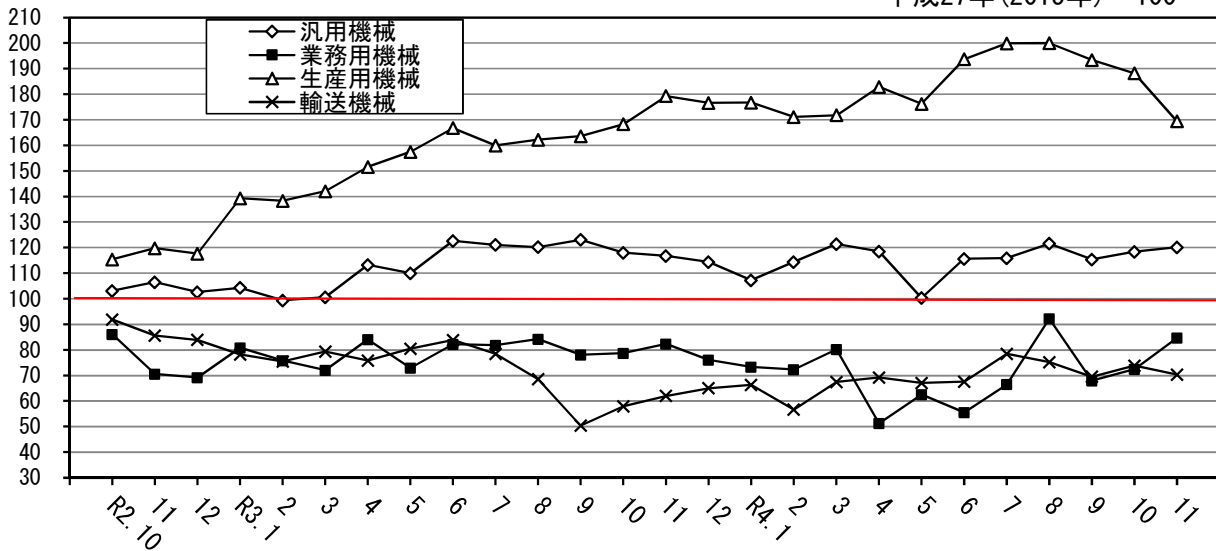
□横ばい □前月比上昇 □前月比低下



◎主要産業の生産動向（季節調整済指数）

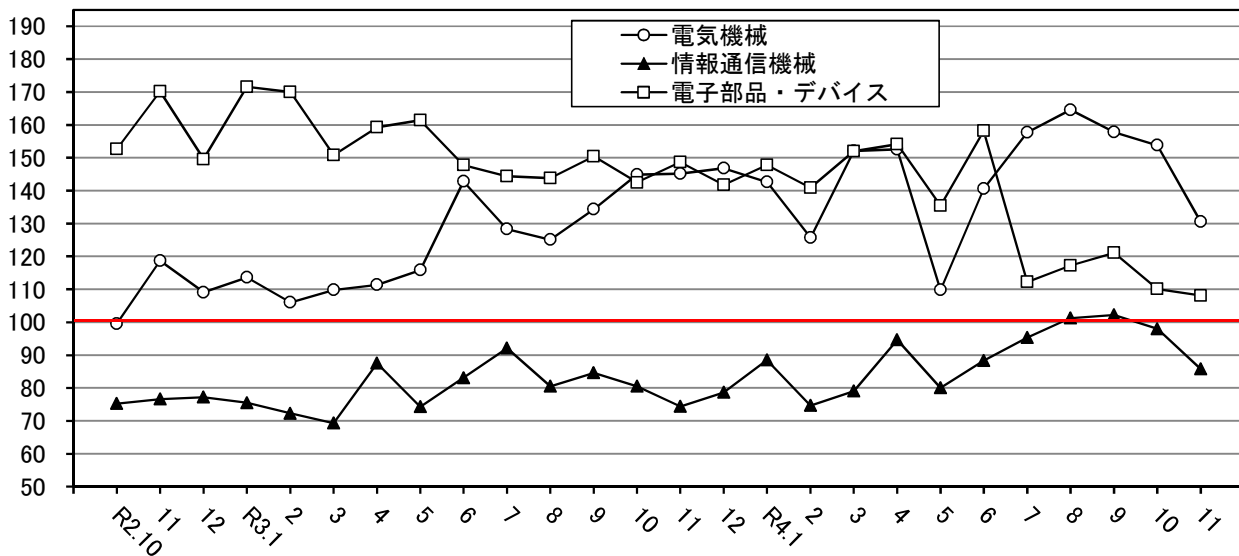
○汎用機械、業務用機械、生産用機械、輸送機械

平成27年(2015年) = 100



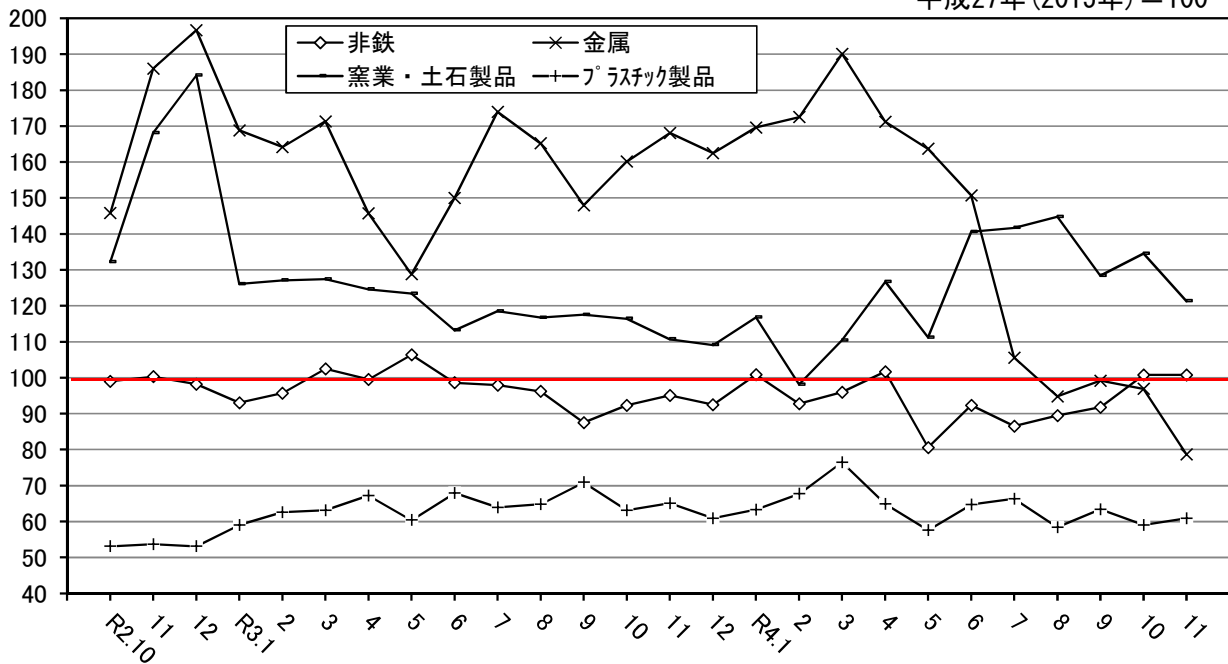
○電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス

平成27年(2015年) = 100



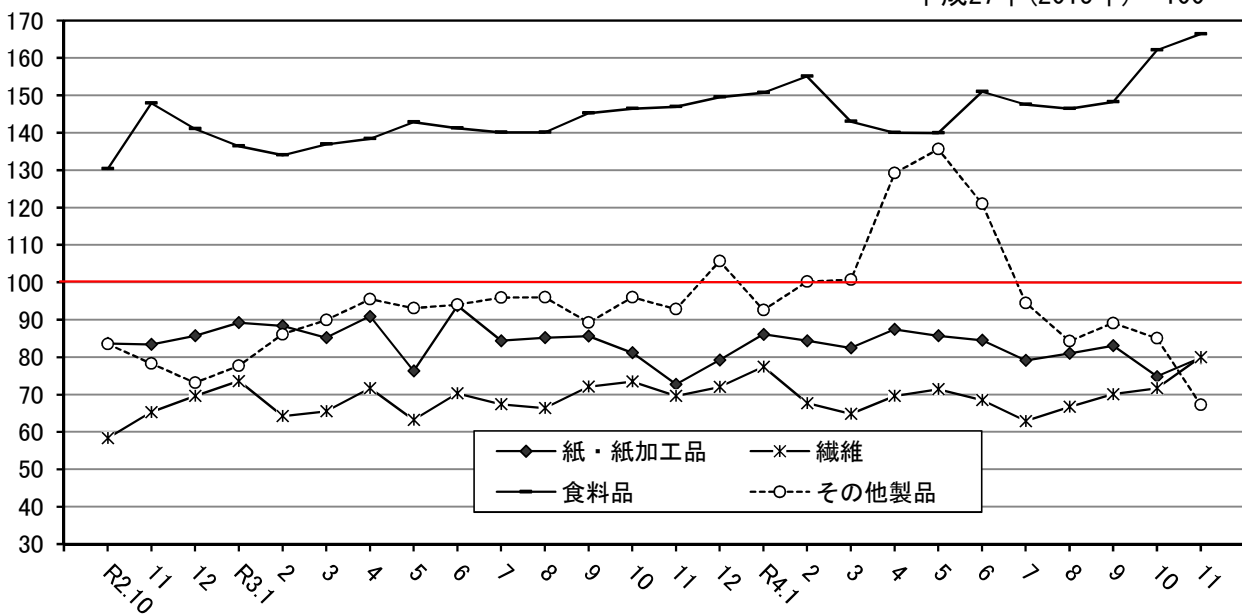
○非鉄、金属、窯業・土石製品、プラスチック製品

平成27年(2015年) = 100



○紙・紙加工品、繊維、食料品、その他製品

平成27年(2015年) = 100



(2) 出荷の動向

出荷指数は128.0で前月比△8.7%の低下、前年同月比△7.7%の低下

業種別にみると、業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、汎用機械工業等の6業種が上昇し、生産用機械工業、電気機械工業、食料品工業等の10業種が低下した。

(秘匿を除く)

○上昇した主な業種

業 種	前 月 比 (%)	寄 与 度 (%ポイント)	細 分 類 業 種
業 務 用 機 械 工 業	19.0	0.33	医療用機器製造業 サービス用機械器具製造業
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	2.7	0.26	半導体素子製造業 など その他の電子部品・デバイス製造業
汎 用 機 械 工 業	3.4	0.09	物流運搬設備製造業

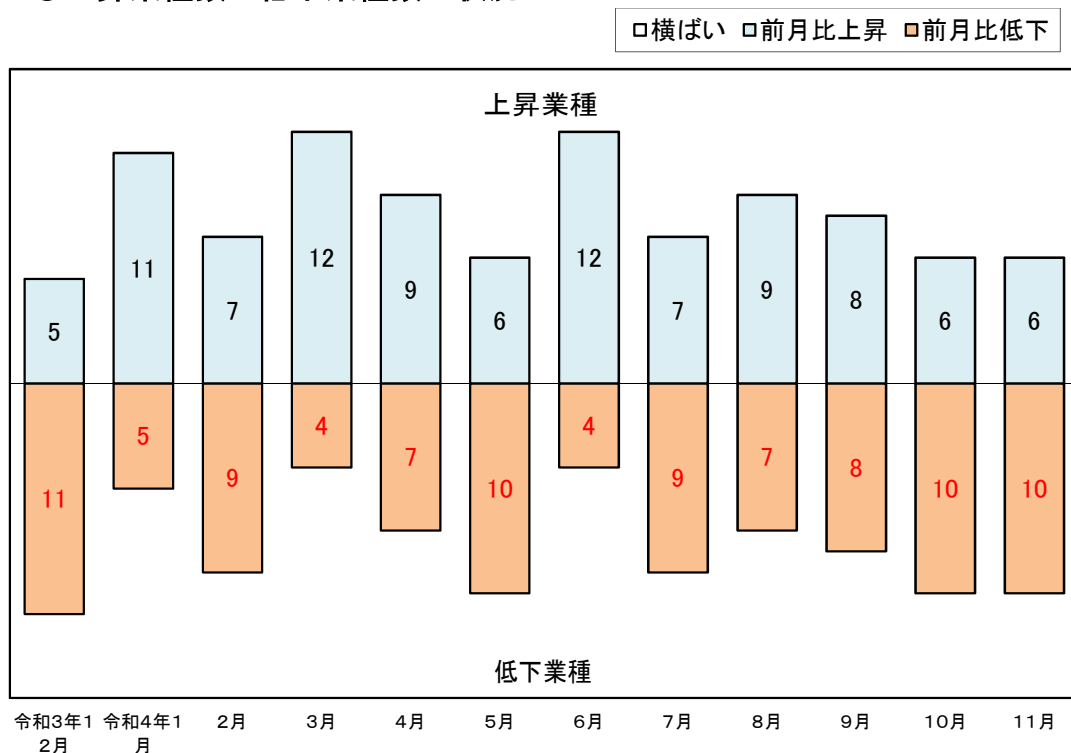
○低下した主な業種

業 種	前 月 比 (%)	寄 与 度 (%ポイント)	細 分 類 業 種
生 産 用 機 械 工 業	△ 11.7	△ 4.65	ロボット製造業 など 金属工作機械製造業
電 気 機 械 工 業	△ 18.7	△ 2.49	発電器・電動機製造業 など 電気計測器製造業
食 料 品 工 業	△ 4.1	△ 0.66	生菓子製造業 など めん類製造業

◎対前月比の動向(出荷)

業種	令和3年	令和4年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
鉄鋼業	△ 3.9	1.1	△ 0.3	13.3	8.8	△ 14.8	3.3	9.0	△ 5.1	9.8	△ 2.0	△ 18.4
非鉄金属工業	△ 2.0	8.3	△ 8.0	5.0	5.3	△ 20.0	14.5	△ 7.1	5.1	2.4	7.7	△ 0.3
金属製品工業	△ 5.5	6.1	4.4	7.6	△ 7.2	△ 6.2	△ 4.9	△ 27.1	△ 12.9	9.0	△ 5.3	△ 18.4
汎用機械工業	△ 2.9	△ 5.3	6.5	5.6	△ 2.5	△ 16.5	17.5	0.3	4.6	△ 5.1	0.4	3.4
業務用機械工業	△ 6.6	10.5	△ 11.6	14.9	△ 36.7	27.6	△ 21.2	26.5	16.1	△ 12.9	△ 1.1	19.0
生産用機械工業	△ 0.3	2.4	△ 5.2	△ 2.3	8.7	△ 1.4	11.2	3.0	2.9	△ 0.3	△ 5.9	△ 11.7
電子部品・デバイス工業	△ 7.9	△ 0.8	1.0	3.4	24.6	△ 19.3	18.5	△ 39.3	18.2	△ 7.6	△ 4.2	2.7
電気機械工業	△ 3.0	1.3	△ 14.0	17.7	3.3	△ 22.3	20.5	9.2	0.7	△ 0.7	△ 0.3	△ 18.7
情報通信機械工業	△ 3.2	4.9	△ 16.7	15.2	△ 1.9	31.0	△ 6.5	△ 4.9	17.9	1.5	△ 15.7	△ 2.2
輸送機械工業	2.1	2.5	△ 11.9	15.5	0.9	0.6	4.6	6.5	1.6	△ 8.1	2.1	△ 1.5
窯業・土石製品工業	△ 4.7	21.0	△ 18.7	17.2	△ 3.9	0.3	24.3	△ 1.3	△ 7.5	△ 4.1	3.1	△ 13.2
プラスチック製品工業	△ 6.8	2.6	17.3	8.0	△ 12.3	△ 16.9	14.6	2.7	△ 7.6	△ 1.7	△ 1.3	3.1
紙・紙加工品工業	7.6	5.1	△ 2.5	△ 3.9	14.5	△ 12.8	6.0	△ 7.6	△ 2.0	0.5	1.4	5.5
繊維工業	21.5	△ 21.3	12.5	△ 1.3	2.0	△ 15.0	16.1	△ 23.2	23.2	4.5	△ 3.2	10.3
食料品工業	3.2	△ 6.4	5.6	△ 2.6	△ 4.1	0.2	4.0	△ 1.8	△ 0.8	4.0	9.9	△ 4.1
その他製品工業	8.5	△ 7.7	3.1	5.8	17.1	2.9	△ 13.2	△ 18.9	△ 9.0	3.6	△ 4.8	△ 15.3
前月比上昇の業種数	5	11	7	12	9	6	12	7	9	8	6	6
前月比低下の業種数	11	5	9	4	7	10	4	9	7	8	10	10
前月比横ばいの業種数												

○上昇業種数・低下業種数の状況



(3) 在庫の動向

在庫指数は196.7で前月比4.5%の上昇、前年同月比32.7%の上昇

業種別にみると、生産用機械工業、金属製品工業、繊維工業等の8業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、プラスチック製品工業の2業種が低下した。

(秘匿を除く)

○上昇した主な業種

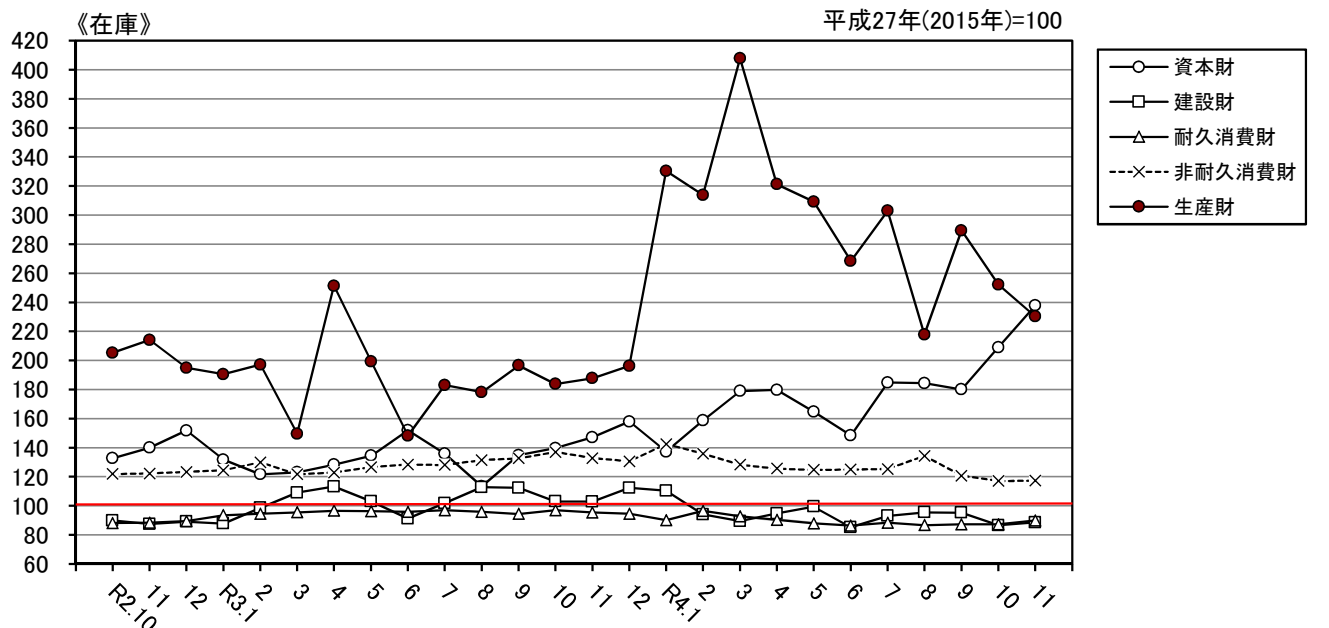
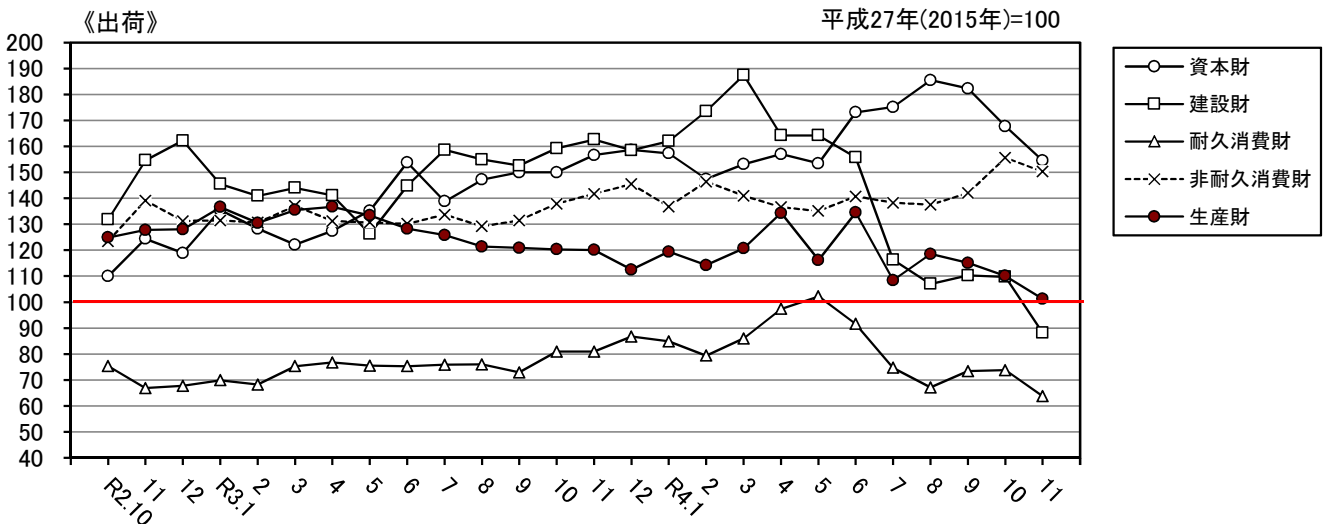
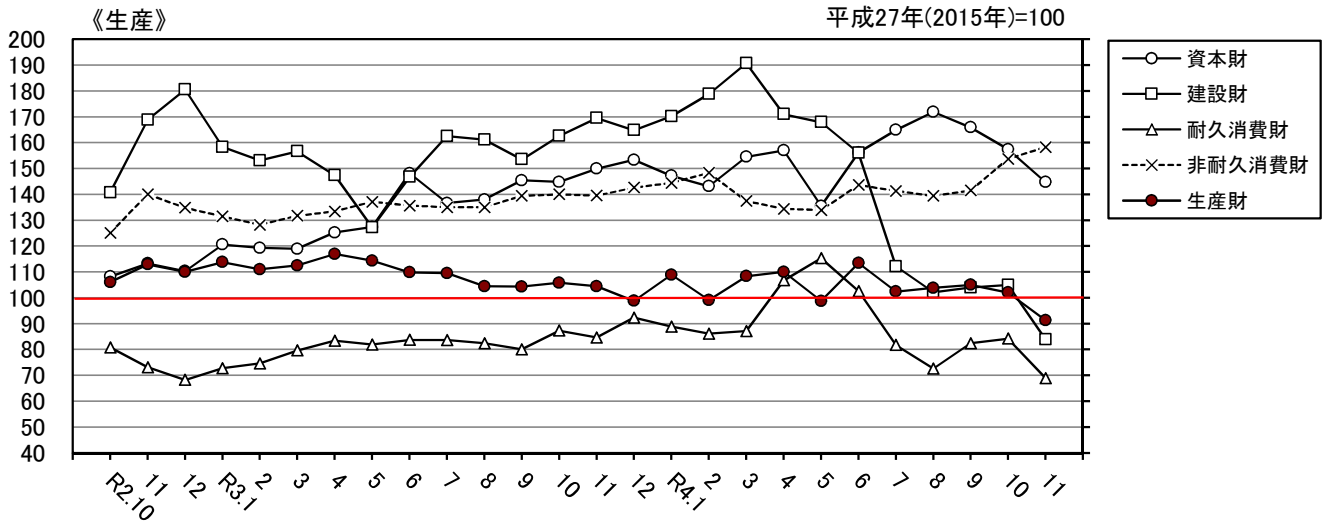
業種	前月比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
生産用機械工業	16.3	1.67	金属工作機械製造業 半導体製造装置製造業 など
金属製品工業	27.4	1.66	製缶板金業 金属製スプリング製造業
繊維工業	3.2	0.18	絹・人絹織物業 外衣製造業 など

○低下した主な業種

業種	前月比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
電子部品・デバイス工業	△ 11.9	△ 2.30	半導体素子製造業 電子回路基板製造業 など
プラスチック製品工業	△ 17.7	△ 0.56	発泡・強化プラスチック製品製造業 プラスチックフィルム製造業

2. 特殊分類の推移

◎特殊分類【生産・出荷・在庫グラフ】（季節調整済指数）



3. 全国との比較

(1) 生産 平成27年(2015年) = 100

年	月	山梨				全国			
		季節調整 済指数	前月比	原指数	前年 (同月)比	季節調整 済指数	前月比	原指数	前年 (同月)比
H31(R1)年	—	—	—	109.2	△ 12.1	—	—	101.1	△ 3.0
R2年	—	—	—	104.9	△ 3.9	—	—	90.6	△ 10.4
R3年	—	—	—	125.4	19.5	—	—	95.7	5.6
R3年	10	129.3	0.8	130.1	15.7	91.8	2.1	92.8	△ 4.3
	11	133.6	3.3	137.0	14.5	96.4	5.0	99.9	4.8
	12	131.5	△ 1.6	139.1	13.6	96.6	0.2	100.0	2.2
R4年	1	132.4	0.7	122.9	11.8	94.3	△ 2.4	87.7	△ 0.8
	2	128.0	△ 3.3	124.4	9.6	96.2	2.0	92.5	0.5
	3	135.3	5.7	149.9	13.6	96.5	0.3	107.1	△ 1.7
	4	136.9	1.2	136.8	10.0	95.1	△ 1.5	93.8	△ 4.9
	5	126.2	△ 7.8	118.4	2.6	88.0	△ 7.5	83.8	△ 3.1
	6	135.5	7.4	141.2	5.4	96.1	9.2	98.8	△ 2.8
	7	135.0	△ 0.4	134.5	6.1	96.9	0.8	98.0	△ 2.0
	8	135.7	0.5	126.5	11.0	100.2	3.4	91.5	5.8
	9	135.2	△ 0.4	135.0	5.4	98.5	△ 1.7	101.9	9.6
	10	132.4	△ 2.1	132.1	1.5	95.3	△ 3.2	95.6	3.0
	11	123.5	△ 6.7	126.6	△ 7.6	95.5	0.2	99.0	△ 0.9

(2) 出荷 平成27年(2015年) = 100

年	月	山梨				全国			
		季節調整 済指数	前月比	原指数	前年 (同月)比	季節調整 済指数	前月比	原指数	前年 (同月)比
H31(R1)年	—	—	—	112.6	△ 11.4	—	—	100.2	△ 2.7
R2年	—	—	—	110.9	△ 1.5	—	—	89.6	△ 10.6
R3年	—	—	—	133.3	20.2	—	—	93.7	4.6
R3年	10	135.7	1.0	138.4	14.3	89.1	2.5	90.1	△ 5.9
	11	138.7	2.2	144.4	14.0	93.9	5.4	97.1	3.3
	12	138.0	△ 0.5	148.6	11.8	94.1	0.2	99.8	2.5
R4年	1	139.0	0.7	128.2	6.1	92.7	△ 1.5	85.8	△ 1.3
	2	135.4	△ 2.6	127.0	6.1	92.7	0.0	89.6	△ 1.5
	3	141.0	4.1	153.9	8.4	93.3	0.6	106.0	△ 2.4
	4	144.8	2.7	149.2	10.7	93.0	△ 0.3	90.9	△ 4.6
	5	140.0	△ 3.3	127.2	6.4	89.2	△ 4.1	81.3	△ 3.1
	6	150.9	7.8	153.9	9.7	93.7	5.0	95.7	△ 2.9
	7	141.6	△ 6.2	144.2	7.3	94.8	1.2	95.2	△ 2.1
	8	147.2	4.0	137.3	12.9	97.5	2.8	89.9	5.9
	9	146.4	△ 0.5	147.6	8.9	95.1	△ 2.5	99.2	9.4
	10	140.2	△ 4.2	141.1	2.0	93.5	△ 1.7	93.8	4.1
	11	128.0	△ 8.7	133.3	△ 7.7	93.4	△ 0.1	96.6	△ 0.5

(3) 在庫 平成27年(2015年) = 100

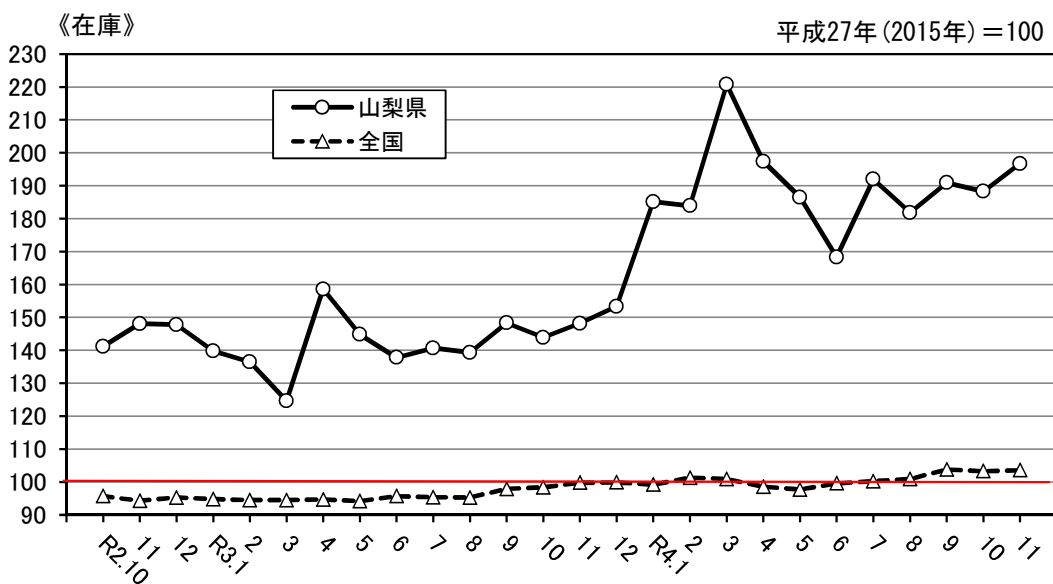
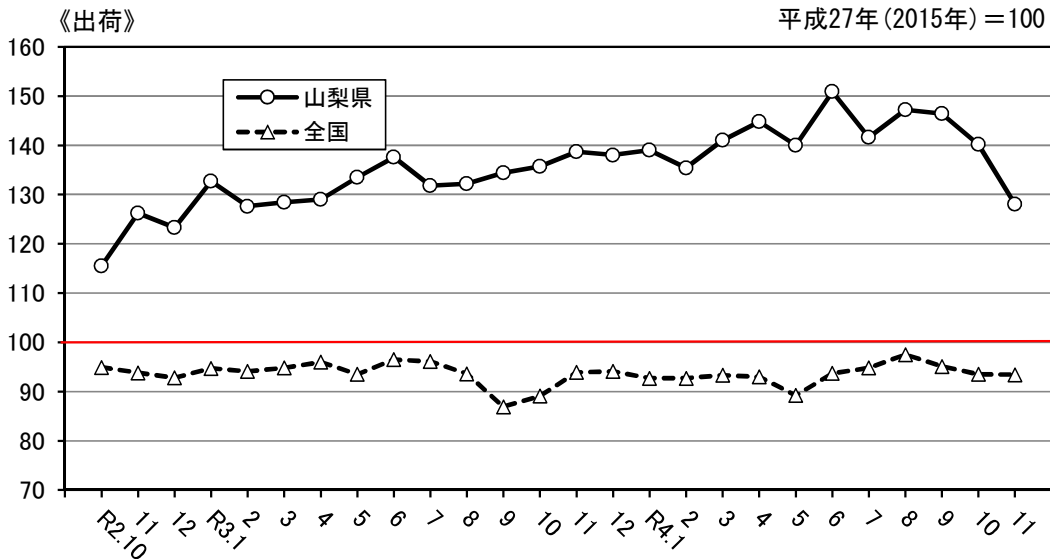
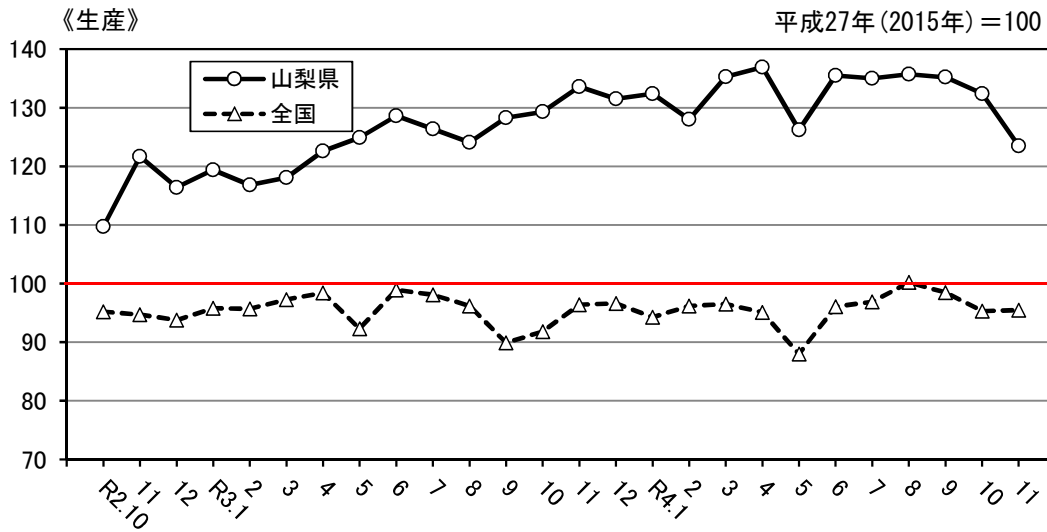
年	月	山梨				全国			
		季節調整 済指数	前月比	原指数	前年 (同月)比	季節調整 済指数	前月比	原指数	前年 (同月)比
H31(R1)年	—	—	—	122.3	△ 6.0	—	—	101.7	1.2
R2年	—	—	—	143.4	17.3	—	—	93.2	△ 8.4
R3年	—	—	—	154.7	7.9	—	—	97.8	4.9
R3年	10	143.9	△ 3.0	153.2	1.6	98.4	0.5	98.1	2.1
	11	148.2	3.0	157.2	1.3	99.8	1.4	100.6	5.5
	12	153.3	3.4	154.7	7.9	99.9	0.1	97.8	4.9
R4年	1	185.1	20.7	168.9	32.4	99.2	△ 0.7	100.9	4.7
	2	183.9	△ 0.6	178.8	34.7	101.3	2.1	102.0	7.1
	3	220.8	20.1	212.6	77.2	100.9	△ 0.4	97.7	6.8
	4	197.4	△ 10.6	192.7	24.5	98.6	△ 2.3	97.3	4.1
	5	186.5	△ 5.5	181.8	28.8	97.7	△ 0.9	99.1	3.8
	6	168.3	△ 9.8	174.5	22.2	99.6	1.9	100.3	4.2
	7	192.0	14.1	190.7	36.5	100.2	0.6	101.4	5.1
	8	181.8	△ 5.3	186.3	30.5	100.9	0.7	102.1	5.9
	9	190.9	5.0	193.4	28.8	103.8	2.9	103.0	6.1
	10	188.3	△ 1.4	200.5	30.9	103.3	△ 0.5	103.0	5.0
	11	196.7	4.5	208.6	32.7	103.6	0.3	104.4	3.8

①年別指数、前年比、前年同月比は原指数を用い、月別指数、前月比は季節調整済指数を用いている。

②在庫の年指数は年末値を用いている。

③全国の指数は、経済産業省大臣官房調査統計グループ「生産・出荷・在庫指数確報」による。

◎全国指数（季節調整済指数）のグラフ



1. 生産指数 (業種分類)

	鉱工業										
	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用・業務用機械工業	汎用機械工業	業務用機械工業	生産用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業	情報通信機械工業	
ウェイト	10000.0	36.5	170.9	451.0	891.1	498.4	392.7	2074.7	881.9	1696.3	582.6
(原指数)											
H31 (R1)年	109.2	101.1	104.0	139.3	126.1	139.5	109.1	106.0	139.1	95.3	87.8
R2年	104.9	77.8	96.8	141.5	98.7	114.2	79.0	108.0	141.1	93.6	81.1
R3年	125.4	83.0	96.4	159.7	98.6	113.8	79.3	158.6	152.4	127.2	79.0
R3 Ⅲ期	123.0	79.8	92.5	148.9	102.8	121.2	79.5	158.6	142.2	118.3	83.3
Ⅳ期	135.4	85.7	97.0	188.8	98.3	112.8	80.0	174.2	157.0	145.6	79.2
R4 Ⅰ期	132.4	84.7	96.8	191.1	96.9	116.6	71.8	171.9	146.3	148.5	82.2
Ⅱ期	132.1	89.2	89.1	136.9	89.8	113.8	59.5	189.1	141.5	139.6	86.1
Ⅲ期	132.0	89.0	88.1	91.4	97.4	116.6	73.0	193.9	114.5	146.4	97.7
R3 8	114.0	71.9	90.2	137.7	92.2	107.7	72.5	149.2	135.8	101.1	82.3
9	128.1	81.7	88.0	150.8	105.3	128.6	75.8	166.5	150.5	133.8	78.1
10	130.1	88.4	94.3	164.8	100.9	116.5	81.2	164.3	151.9	136.2	82.9
11	137.0	85.4	100.7	218.6	100.4	112.4	85.2	177.2	166.4	147.0	79.1
12	139.1	83.2	96.1	183.1	93.6	109.5	73.5	181.0	152.8	153.5	75.5
R4 1	122.9	77.2	97.6	170.0	86.6	101.6	67.5	161.9	154.5	129.9	90.4
2	124.4	78.4	91.7	184.7	95.3	117.1	67.8	164.4	122.2	135.5	72.5
3	149.9	98.5	101.0	218.5	108.7	131.2	80.2	189.3	162.1	180.2	83.6
4	136.8	98.1	99.5	138.3	89.7	114.4	58.4	189.8	155.5	151.3	89.3
5	118.4	77.4	77.7	130.8	81.3	100.4	57.0	173.8	121.7	111.8	86.1
6	141.2	92.0	90.1	141.7	98.5	126.5	63.0	203.7	147.2	155.7	82.9
7	134.5	93.7	87.0	91.7	98.4	118.6	72.7	198.9	110.2	144.9	97.9
8	126.5	79.2	85.1	81.3	97.3	110.6	80.3	186.1	112.1	137.2	100.8
9	135.0	94.0	92.3	101.1	96.4	120.5	65.9	196.8	121.2	157.1	94.4
10	132.1	96.7	102.4	101.4	99.0	118.4	74.5	182.8	114.7	142.6	97.9
11	126.6	83.1	106.8	102.4	103.3	115.6	87.7	167.4	121.0	132.2	91.2
前年同月比	△ 7.6	△ 2.7	6.1	△ 53.2	2.9	2.8	2.9	△ 5.5	△ 27.3	△ 10.1	15.3

(季節調整指数)

R3 Ⅲ期	126.3	85.7	93.9	162.4	103.8	121.5	81.4	161.9	146.2	129.3	85.7
Ⅳ期	131.5	81.6	93.3	163.6	98.4	116.4	79.0	174.7	144.3	145.6	77.9
R4 Ⅰ期	131.9	83.0	96.6	177.4	96.9	114.4	75.3	173.2	146.9	140.1	80.8
Ⅱ期	132.9	89.6	91.5	161.9	88.4	111.5	56.5	184.3	149.2	134.3	87.6
Ⅲ期	135.3	94.3	89.3	99.9	99.1	117.6	75.5	197.8	116.9	160.0	99.6
R3 8	124.1	83.5	96.2	165.2	105.6	120.2	84.2	162.2	143.8	125.1	80.5
9	128.3	85.5	87.5	148.0	102.8	123.1	78.1	163.6	150.4	134.4	84.6
10	129.3	84.1	92.3	160.2	99.2	118.0	78.7	168.3	142.5	144.9	80.5
11	133.6	81.7	95.1	168.1	100.7	116.8	82.3	179.3	148.7	145.2	74.4
12	131.5	79.0	92.5	162.5	95.4	114.4	76.1	176.6	141.8	146.8	78.7
R4 1	132.4	80.4	100.9	169.6	91.6	107.3	73.3	176.7	147.8	142.6	88.5
2	128.0	79.5	92.8	172.5	96.2	114.4	72.3	171.1	140.9	125.7	74.7
3	135.3	89.2	96.0	190.1	103.0	121.4	80.2	171.8	152.0	152.1	79.1
4	136.9	99.3	101.7	171.2	86.8	118.5	51.3	182.9	154.1	152.6	94.6
5	126.2	83.3	80.6	163.7	83.8	100.3	62.6	176.2	135.4	109.8	80.0
6	135.5	86.1	92.3	150.7	94.7	115.6	55.5	193.7	158.2	140.6	88.3
7	135.0	95.1	86.5	105.6	93.2	115.9	66.5	199.9	112.3	157.7	95.3
8	135.7	89.4	89.5	94.8	110.1	121.6	92.2	200.0	117.2	164.6	101.3
9	135.2	98.4	91.8	99.2	94.1	115.4	67.9	193.4	121.1	157.8	102.2
10	132.4	95.6	100.8	96.9	96.6	118.4	72.5	188.2	110.1	153.8	98.0
11	123.5	79.5	100.8	78.7	103.6	120.1	84.7	169.4	108.1	130.6	85.8

前月比 △ 6.7 △ 16.8 0.0 △ 18.8 7.2 1.4 16.8 △ 10.0 △ 1.8 △ 15.1 △ 12.4 44

平成27年(2015年) = 100

輸送機械工業	窯業・土石製品工業	プラスチック製品工業	紙・紙加工工業	繊維工業	食料品工業	その他工業	参考			機械工業	はん用・生産用・業務用・機械工業
							家具工業	木材・木製品工業	その他製品工業		
389.5	344.1	365.6	60.7	205.9	1400.2	449.0	63.7	46.5	338.8	6516.1	2965.8
85.8	107.8	96.9	94.1	92.1	117.5	99.2	×	×	103.9	107.6	112.0
76.5	134.8	58.5	87.5	62.0	124.3	74.5	×	×	75.0	103.2	105.2
70.9	119.2	64.3	84.5	69.2	141.5	87.6	×	×	92.7	129.0	140.6
63.2	116.0	65.4	90.1	64.1	144.6	87.0	×	×	90.9	125.8	141.9
68.6	119.2	68.6	76.7	81.6	148.8	102.1	×	×	109.1	139.2	151.4
64.9	107.8	64.4	80.2	68.7	142.4	93.3	×	×	100.3	137.6	149.4
61.3	120.8	63.2	86.0	65.4	145.4	103.8	×	×	114.3	139.4	159.3
72.0	136.5	61.6	86.5	61.9	151.0	85.2	×	×	88.3	141.7	164.9
57.7	110.8	58.8	86.9	56.8	138.9	80.1	×	×	83.0	115.6	132.1
51.4	118.5	74.9	93.9	72.0	141.9	96.6	×	×	103.0	132.7	148.1
62.7	121.9	68.3	81.8	82.0	144.2	106.7	×	×	117.1	133.3	145.3
69.6	121.1	72.1	70.0	78.7	137.9	95.9	×	×	96.6	142.2	154.1
73.6	114.7	65.5	78.3	84.0	164.4	103.7	×	×	113.7	142.2	154.8
63.9	109.6	55.1	71.6	70.2	120.3	89.5	×	×	96.7	130.0	139.3
57.9	95.5	61.8	77.5	66.5	141.7	92.4	×	×	98.0	127.1	143.7
72.8	118.4	76.3	91.5	69.4	165.3	98.1	×	×	106.1	155.8	165.1
65.1	126.6	68.2	87.8	68.6	146.9	104.9	×	×	119.3	145.0	159.7
52.4	101.9	53.7	82.9	61.2	135.6	103.6	×	×	113.0	122.9	146.0
66.3	133.8	67.8	87.3	66.5	153.6	102.9	×	×	110.6	150.2	172.1
80.9	142.5	63.6	83.6	58.7	161.0	85.5	×	×	87.7	143.0	168.7
64.2	137.6	54.4	84.8	56.9	147.0	73.6	×	×	74.3	136.3	159.4
70.9	129.5	66.9	91.1	70.0	144.9	96.4	×	×	102.8	145.8	166.6
78.5	140.2	63.4	73.6	80.9	157.7	93.9	×	×	99.3	137.8	157.6
79.0	132.7	67.4	76.8	90.4	156.2	71.8	×	×	69.9	131.1	148.2
13.5	9.6	△ 6.5	9.7	14.9	13.3	△ 25.1	×	×	△ 27.6	△ 7.8	△ 3.8
65.8	117.6	66.5	85.1	68.6	141.8	86.4	×	×	93.7	130.0	144.2
61.6	112.1	63.0	77.7	71.7	147.6	93.1	×	×	98.2	137.1	151.7
63.5	108.4	69.2	84.3	70.0	149.6	92.1	×	×	97.8	137.0	149.7
68.0	126.2	62.4	85.9	69.8	143.6	118.7	×	×	128.6	137.4	156.3
74.4	138.3	62.7	81.1	66.6	147.4	83.5	×	×	89.3	146.1	167.5
68.6	116.7	64.8	85.2	66.4	140.1	88.7	×	×	96.0	126.9	144.4
50.4	117.5	70.9	85.6	72.1	145.2	82.2	×	×	89.2	133.1	145.5
57.9	116.4	63.1	81.2	73.5	146.4	91.2	×	×	96.0	134.1	146.4
62.0	110.7	65.1	72.7	69.6	146.9	90.6	×	×	92.8	139.1	156.0
65.0	109.1	60.9	79.2	72.0	149.5	97.4	×	×	105.7	138.0	152.7
66.3	116.8	63.3	86.1	77.4	150.7	89.9	×	×	92.6	139.4	149.9
56.7	98.1	67.7	84.4	67.7	155.1	94.4	×	×	100.2	130.2	147.7
67.4	110.4	76.5	82.5	64.8	143.0	92.1	×	×	100.7	141.3	151.5
69.2	126.7	64.9	87.4	69.6	140.0	120.2	×	×	129.2	142.4	154.2
67.1	111.2	57.6	85.7	71.4	139.9	127.3	×	×	135.6	127.8	149.8
67.6	140.6	64.7	84.5	68.5	151.0	108.5	×	×	121.0	142.1	164.8
78.5	141.7	66.3	79.1	62.9	147.5	88.6	×	×	94.5	144.5	166.8
75.2	144.8	58.4	81.0	66.7	146.4	79.9	×	×	84.3	147.5	172.0
69.5	128.4	63.4	83.1	70.1	148.2	82.0	×	×	89.1	146.3	163.7
73.8	134.5	59.0	74.8	71.7	162.1	82.5	×	×	85.0	140.0	159.8
70.3	121.3	60.9	79.8	80.0	166.4	67.8	×	×	67.2	128.2	150.0
△ 4.7	△ 9.8	3.2	6.7	11.6	2.7	△ 17.8	×	×	△ 20.9	△ 8.4	△ 6.1

2. 出荷指数 (業種分類)

	鉱工業										
	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用・業務用機械工業	汎用機械工業	業務用機械工業	生産用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業	情報通信機械工業	
ウェイト	10000.0	43.0	202.7	385.2	685.5	335.4	350.1	2658.8	907.8	1264.4	709.8
(原指数)											
(R1)年	112.6	96.5	107.8	132.3	124.9	140.1	110.4	116.3	150.0	99.6	85.8
H31 R2年	110.9	73.1	101.8	131.4	99.9	112.5	87.9	116.5	195.2	90.4	79.6
R3年	133.3	78.1	103.9	150.4	96.9	112.5	82.0	168.2	215.9	121.8	72.8
R3 Ⅲ期	130.5	75.4	99.2	139.8	100.5	120.4	81.4	167.1	201.7	114.3	73.9
Ⅳ期	143.8	80.5	104.8	181.3	97.6	112.1	83.6	185.3	215.3	137.7	71.1
R4 Ⅰ期	136.4	79.2	104.8	179.3	96.3	115.1	78.4	179.2	184.6	143.9	69.7
Ⅱ期	143.4	83.0	97.2	128.8	85.9	111.4	61.5	205.1	209.9	130.0	79.8
Ⅲ期	143.0	82.9	95.9	90.3	94.5	115.2	74.7	215.3	153.2	140.4	92.5
R3 8	121.6	67.9	96.6	129.3	90.0	106.4	74.3	156.6	191.0	96.6	74.0
9	135.5	76.9	93.8	143.0	104.7	128.4	82.0	178.9	213.2	126.6	68.7
10	138.4	82.4	101.5	160.0	99.6	116.2	83.7	177.9	209.5	131.5	82.1
11	144.4	81.2	108.9	205.4	97.9	111.9	84.4	182.4	232.7	141.2	66.1
12	148.6	78.0	104.1	178.5	95.2	108.2	82.7	195.7	203.6	140.5	65.1
R4 1	128.2	71.9	104.7	160.7	86.4	100.2	73.3	173.0	188.7	129.6	81.3
2	127.0	73.9	98.9	175.3	93.7	115.9	72.5	169.5	160.0	130.6	57.1
3	153.9	91.9	110.9	202.0	108.9	129.3	89.4	195.2	205.1	171.6	70.7
4	149.2	91.0	108.0	130.4	84.7	112.4	58.2	204.3	237.6	135.9	94.5
5	127.2	72.1	85.2	121.7	81.0	97.4	65.3	182.5	177.4	107.1	71.9
6	153.9	86.0	98.3	134.4	92.1	124.5	60.9	228.6	214.6	147.1	73.1
7	144.2	86.9	94.3	91.5	97.5	117.0	78.9	217.5	141.4	137.8	97.3
8	137.3	74.1	92.2	78.7	91.8	109.3	75.0	204.3	159.2	129.8	90.4
9	147.6	87.8	101.3	100.6	94.2	119.4	70.1	224.2	159.0	153.5	89.7
10	141.1	90.8	110.4	101.9	94.9	115.7	75.0	196.6	156.5	134.8	111.0
11	133.3	77.5	115.7	102.3	99.4	114.7	84.8	180.4	172.4	120.4	72.6
前年同月比	△ 7.7	△ 4.6	6.2	△ 50.2	1.5	2.5	0.5	△ 1.1	△ 25.9	△ 14.7	9.8

(季節調整済指数)

R3 Ⅲ期	132.8	80.9	101.3	155.6	99.7	120.6	81.1	172.5	203.9	120.5	73.7
Ⅳ期	137.5	76.4	100.6	152.9	96.9	114.9	80.3	185.3	195.1	140.0	70.0
R4 Ⅰ期	138.5	77.9	104.3	166.5	97.5	113.1	83.4	182.3	190.2	132.4	70.4
Ⅱ期	145.2	83.6	99.8	155.1	85.5	109.6	60.7	196.9	223.7	130.8	83.9
Ⅲ期	145.1	87.8	97.8	100.5	94.3	116.4	74.7	220.3	153.8	148.2	93.3
R3 8	132.2	78.8	104.7	157.4	99.4	118.8	82.9	173.4	199.6	113.9	77.9
9	134.4	80.4	93.5	144.3	102.1	122.7	83.6	177.1	206.4	122.0	75.9
10	135.7	78.5	99.5	152.5	97.0	116.8	79.2	183.6	192.4	143.1	63.4
11	138.7	76.9	102.1	157.4	99.4	115.6	83.6	186.4	204.5	140.6	74.5
12	138.0	73.9	100.1	148.7	94.3	112.3	78.1	185.8	188.4	136.4	72.1
R4 1	139.0	74.7	108.4	157.7	95.1	106.4	86.3	190.3	186.8	138.2	75.6
2	135.4	74.5	99.7	164.6	94.8	113.3	76.3	180.4	188.7	118.9	63.0
3	141.0	84.4	104.7	177.1	102.7	119.7	87.7	176.3	195.1	140.0	72.6
4	144.8	91.8	110.2	164.4	81.7	116.7	55.5	191.7	243.0	144.6	71.2
5	140.0	78.2	88.2	154.2	83.6	97.5	70.8	189.0	196.0	112.4	93.3
6	150.9	80.8	101.0	146.7	91.1	114.6	55.8	210.1	232.2	135.4	87.2
7	141.6	88.1	93.8	106.9	91.5	114.9	70.6	216.3	140.9	147.9	82.9
8	147.2	83.6	98.6	93.1	99.6	120.2	82.0	222.6	166.5	148.9	97.7
9	146.4	91.8	101.0	101.5	91.9	114.1	71.4	222.0	153.9	147.9	99.2
10	140.2	90.0	108.8	96.1	91.7	114.6	70.6	208.8	147.5	147.5	83.6
11	128.0	73.4	108.5	78.4	100.9	118.5	84.0	184.3	151.5	119.9	81.8
前月比	△ 8.7	△ 18.4	△ 0.3	△ 18.4	10.0	3.4	19.0	△ 11.7	2.7	△ 18.7	△ 2.2

平成27年(2015年) = 100

輸送機械工業	窯業・土石製品工業	プラスチック製品工業	紙・紙加工工業	繊維工業	食料品工業	その他工業	参考			機械工業	参考 はん用・生産用・業務用・機械工業
							家具工業	木材・木製品工業	その他製品工業		
426.6	268.1	436.2	73.6	154.7	1389.1	394.5	41.1	31.7	321.7	6652.9	3344.3

85.7	110.4	101.4	93.3	81.7	117.6	97.5	×	×	100.6	113.4	118.0
76.5	133.0	57.5	88.9	56.9	123.2	72.9	×	×	73.1	114.1	113.1
70.8	119.1	65.8	86.5	59.8	141.0	85.0	×	×	88.4	142.1	153.6
62.3	120.3	68.2	93.4	54.3	142.7	81.8	×	×	84.8	138.2	153.5
68.8	122.1	70.3	87.1	75.5	153.0	102.6	×	×	107.6	151.7	167.3
65.1	114.9	66.1	84.1	56.4	136.4	92.3	×	×	97.4	145.7	162.2
61.8	125.0	65.5	89.9	52.8	146.4	97.8	×	×	102.9	156.7	180.7
71.7	138.5	64.7	91.4	50.7	152.2	79.3	×	×	79.7	157.9	190.6
55.5	111.4	59.6	94.2	41.0	140.4	75.1	×	×	78.6	127.7	143.0
51.8	127.8	80.7	90.2	56.4	133.3	89.4	×	×	92.6	146.1	163.7
63.6	123.3	71.1	88.2	75.6	137.8	105.6	×	×	112.0	147.8	161.8
70.5	124.7	74.0	83.0	68.1	143.7	98.2	×	×	101.1	153.2	165.1
72.3	118.3	65.7	90.1	82.9	177.6	103.9	×	×	109.7	154.1	175.1
63.4	111.7	57.7	76.6	53.0	110.0	88.0	×	×	93.1	141.1	155.2
58.8	102.3	63.0	77.2	56.6	132.0	89.7	×	×	94.4	133.9	154.0
73.1	130.7	77.6	98.4	59.6	167.2	99.3	×	×	104.7	162.1	177.5
63.5	123.5	72.9	96.6	59.9	152.4	100.9	×	×	109.0	162.8	179.8
54.0	108.2	53.8	77.7	44.2	136.2	98.0	×	×	102.5	137.0	161.7
67.9	143.3	69.7	95.4	54.3	150.6	94.4	×	×	97.1	170.2	200.6
78.2	145.8	67.7	93.3	45.3	157.8	81.3	×	×	81.4	157.9	192.9
64.6	132.4	58.8	92.6	45.4	152.6	69.3	×	×	68.3	151.3	181.3
72.4	137.2	67.5	88.3	61.3	146.2	87.4	×	×	89.5	164.4	197.6
76.8	133.1	65.6	86.4	70.0	155.7	90.3	×	×	92.7	152.1	175.7
79.7	128.5	71.1	90.7	76.9	152.4	73.0	×	×	71.3	141.6	163.8
13.0	3.0	△ 3.9	9.3	12.9	6.1	△ 25.7	×	×	△ 29.5	△ 7.6	△ 0.8

64.8	119.0	68.3	86.3	58.2	137.3	83.0	×	×	88.1	141.0	157.5
61.9	115.1	64.2	85.4	62.8	149.1	91.2	×	×	94.8	147.2	166.9
63.5	120.1	72.2	90.1	58.6	147.8	92.1	×	×	96.7	146.5	164.0
68.8	129.1	65.0	92.9	58.2	143.9	110.8	×	×	115.6	157.6	175.6
74.3	137.4	64.7	84.1	54.7	146.3	79.8	×	×	81.8	160.3	194.3
66.9	115.9	65.3	86.8	51.9	134.9	84.3	×	×	90.5	141.2	159.1
50.5	121.1	74.4	85.6	55.2	136.6	79.9	×	×	83.9	144.3	161.0
58.9	124.7	65.4	85.8	62.6	144.7	89.0	×	×	90.8	144.1	163.9
62.8	112.9	65.9	82.1	56.8	148.9	89.7	×	×	92.8	149.7	168.6
64.1	107.6	61.4	88.3	69.0	153.7	94.8	×	×	100.7	147.8	168.1
65.7	130.2	63.0	92.8	54.3	143.8	88.4	×	×	92.9	149.8	171.1
57.9	105.9	73.9	90.5	61.1	151.8	92.5	×	×	95.8	141.7	161.9
66.9	124.1	79.8	87.0	60.3	147.8	95.5	×	×	101.4	148.1	159.0
67.5	119.2	70.0	99.6	61.5	141.8	114.8	×	×	118.7	156.7	169.6
67.9	119.5	58.2	86.9	52.3	142.1	117.6	×	×	122.1	149.4	167.3
71.0	148.5	66.7	92.1	60.7	147.8	100.0	×	×	106.0	166.6	189.8
75.6	146.6	68.5	85.1	46.6	145.2	84.0	×	×	86.0	153.5	190.3
76.8	135.6	63.3	83.4	57.4	144.0	77.2	×	×	78.3	165.1	198.2
70.6	130.0	62.2	83.8	60.0	149.8	78.1	×	×	81.1	162.4	194.3
72.1	134.0	61.4	85.0	58.1	164.6	77.7	×	×	77.2	150.8	182.0
71.0	116.3	63.3	89.7	64.1	157.9	66.7	×	×	65.4	138.3	167.3
△ 1.5	△ 13.2	3.1	5.5	10.3	△ 4.1	△ 14.2	×	×	△ 15.3	△ 8.3	△ 8.1

3. 在庫指数 (業種分類)

	鉱工業										
	非鉄金属工業	鉄工業	金属製品工業	汎用・業務用機械工業	汎用機械工業	業務用機械工業	生産用機械工業	電子部品・デバイス工業	電機工業	気機工業	情報機械工業
カ イ ト	10000.0	436.0	1269.5	791.1	26.3	764.8	1077.0	716.4	1483.8	292.1	309.3

(原指数)

H31 (R1)年	122.3	×	61.7	124.3	×	126.7	157.5	158.9	×	×	×
R2年	143.4	×	54.1	61.7	×	61.5	112.0	217.2	×	×	×
R3年	154.7	×	76.5	72.7	×	72.6	159.9	282.2	×	×	×
R3 Ⅲ期	150.2	×	125.4	65.1	×	68.2	155.9	306.8	×	×	×
Ⅳ期	154.7	×	76.5	72.7	×	72.6	159.9	282.2	×	×	×
R4 Ⅰ期	212.6	×	67.6	70.8	×	70.0	202.9	1159.6	×	×	×
Ⅱ期	174.5	×	95.5	78.5	×	77.5	184.6	642.0	×	×	×
Ⅲ期	193.4	×	133.5	95.7	×	97.2	188.1	677.8	×	×	×
R3 8	142.8	×	114.1	92.9	×	91.3	138.6	309.9	×	×	×
9	150.2	×	125.4	65.1	×	63.6	155.9	306.8	×	×	×
10	153.2	×	114.3	68.3	×	68.2	159.7	291.7	×	×	×
11	157.2	×	113.5	79.1	×	79.7	175.4	324.0	×	×	×
12	154.7	×	76.5	72.7	×	72.6	159.9	282.2	×	×	×
R4 1	168.9	×	71.3	63.9	×	63.1	136.8	735.3	×	×	×
2	178.8	×	55.2	59.7	×	59.7	183.1	712.7	×	×	×
3	212.6	×	67.6	70.8	×	70.0	202.9	1159.6	×	×	×
4	192.7	×	74.1	76.5	×	75.4	199.2	798.4	×	×	×
5	181.8	×	93.4	63.0	×	60.3	235.6	722.8	×	×	×
6	174.5	×	95.5	78.5	×	77.5	184.6	642.0	×	×	×
7	190.7	×	92.4	83.0	×	81.7	186.6	656.5	×	×	×
8	186.3	×	116.7	118.6	×	119.0	176.9	480.9	×	×	×
9	193.4	×	133.5	95.7	×	97.2	188.1	677.8	×	×	×
10	200.5	×	127.8	106.0	×	106.3	189.8	522.3	×	×	×
11	208.6	×	135.6	112.9	×	114.4	229.1	464.5	×	×	×
前年 同月比	32.7	×	19.5	42.7	×	43.5	30.6	43.4	×	×	×

(季節調整済指数)

R3 Ⅲ期	148.3	×	85.3	60.0	×	59.7	145.8	306.0	×	×	×
Ⅳ期	153.3	×	111.2	69.0	×	67.5	158.6	350.0	×	×	×
R4 Ⅰ期	220.8	×	101.1	77.9	×	77.2	200.1	1125.0	×	×	×
Ⅱ期	168.3	×	90.3	80.4	×	79.7	198.3	648.7	×	×	×
Ⅲ期	190.9	×	90.8	88.1	×	91.2	175.9	676.1	×	×	×
R3 8	139.3	×	87.6	89.9	×	88.9	137.4	228.6	×	×	×
9	148.3	×	85.3	60.0	×	59.7	145.8	306.0	×	×	×
10	143.9	×	79.5	69.5	×	68.8	149.8	280.9	×	×	×
11	148.2	×	94.9	75.5	×	75.4	158.5	309.2	×	×	×
12	153.3	×	111.2	69.0	×	67.5	158.6	350.0	×	×	×
R4 1	185.1	×	112.4	67.8	×	66.9	142.4	910.4	×	×	×
2	183.9	×	82.2	61.5	×	61.6	189.5	860.6	×	×	×
3	220.8	×	101.1	77.9	×	77.2	200.1	1125.0	×	×	×
4	197.4	×	91.3	73.8	×	73.1	218.8	718.3	×	×	×
5	186.5	×	107.0	67.3	×	64.0	246.9	698.0	×	×	×
6	168.3	×	90.3	80.4	×	79.7	198.3	648.7	×	×	×
7	192.0	×	76.8	81.2	×	80.4	185.8	693.1	×	×	×
8	181.8	×	89.6	114.8	×	115.9	175.4	354.8	×	×	×
9	190.9	×	90.8	88.1	×	91.2	175.9	676.1	×	×	×
10	188.3	×	88.9	107.8	×	107.3	178.0	503.0	×	×	×
11	196.7	×	113.3	107.8	×	108.3	207.0	443.2	×	×	×
前月比	4.5	×	27.4	0.0	×	0.9	16.3	△ 11.9	×	×	×

平成27年(2015年) = 100

									参考	参考
窯業・土石製品工業	プラスチック製品工業	紙・紙加工工業	繊維工業	食料品工業	その他工業				機械工業	はん用・生産用・業務用・機械工業
						家具工業	木材・木製品工業	その他製品工業		
411.5	383.4	133.0	424.5	1100.2	1172.2	72.0	35.7	1064.5	4669.7	1868.1

62.1	169.4	75.9	145.8	121.2	90.6	×	×	90.9	143.0	143.4
67.4	140.6	34.9	165.6	120.7	89.2	×	×	89.5	186.9	90.7
108.4	148.2	32.5	196.4	121.2	91.9	×	×	93.7	204.6	123.0
87.4	139.0	45.3	196.1	141.4	100.4	×	×	98.6	176.6	117.5
108.4	148.2	32.5	196.4	121.2	91.9	×	×	93.7	204.6	123.0
83.0	179.7	32.1	209.9	147.6	94.6	×	×	94.1	323.2	146.9
75.6	169.5	36.5	225.8	140.0	84.3	×	×	82.8	239.2	139.7
71.3	147.3	40.5	238.8	128.9	90.4	×	×	86.0	270.9	149.0
99.6	156.5	41.2	190.0	136.2	102.5	×	×	99.6	163.0	119.3
87.4	139.0	45.3	195.9	141.4	100.4	×	×	98.6	176.6	117.5
85.9	134.8	46.6	196.1	148.9	100.8	×	×	101.3	184.7	121.0
85.2	150.1	39.2	200.0	138.2	97.2	×	×	98.4	195.9	134.6
108.4	148.2	32.5	196.4	121.2	91.9	×	×	93.7	204.6	123.0
105.2	141.4	33.6	203.8	130.9	86.3	×	×	86.1	235.6	105.9
86.2	146.9	33.3	206.5	144.4	97.1	×	×	96.6	256.3	130.8
83.0	179.7	32.1	209.9	147.6	94.6	×	×	94.1	323.2	146.9
95.9	156.7	31.0	212.9	139.3	92.8	×	×	90.9	282.3	147.2
102.0	169.8	35.6	221.1	140.0	88.3	×	×	86.9	252.5	162.5
75.6	169.5	36.5	225.8	140.0	84.3	×	×	82.8	239.2	139.7
75.0	134.8	37.1	232.4	141.0	86.5	×	×	84.0	275.9	142.7
81.3	146.2	35.4	236.4	143.3	90.6	×	×	85.3	255.9	152.2
71.3	147.3	40.5	238.8	128.9	90.4	×	×	86.0	270.9	149.0
69.3	148.0	39.3	241.3	126.2	89.3	×	×	86.6	288.6	154.3
72.5	130.4	35.9	245.9	120.5	89.4	×	×	86.8	306.5	179.9
△ 14.9	△ 13.1	△ 8.4	23.0	△ 12.8	△ 8.0	×	×	△ 11.8	56.5	33.7

96.6	142.1	39.6	190.7	141.9	97.8	×	×	95.1	181.2	111.3
118.5	130.1	36.7	205.9	138.5	94.6	×	×	96.2	189.7	120.9
73.7	186.7	35.9	208.5	135.8	94.0	×	×	93.6	337.5	150.1
72.5	169.6	34.6	219.8	132.9	86.6	×	×	84.7	228.1	149.5
78.8	150.6	35.4	232.5	129.3	88.0	×	×	82.9	277.9	141.1
103.2	148.8	41.4	183.5	139.5	99.2	×	×	97.0	164.3	116.0
96.6	142.1	39.6	190.7	141.9	97.8	×	×	95.1	181.2	111.3
98.6	140.3	40.9	196.2	145.6	97.3	×	×	97.9	179.7	117.5
96.7	146.0	38.7	202.7	143.4	95.9	×	×	96.7	180.3	124.2
118.5	130.1	36.7	205.9	138.5	94.6	×	×	96.2	189.7	120.9
109.6	151.3	34.7	212.8	151.5	90.2	×	×	90.9	246.7	111.5
79.3	142.6	34.1	211.1	144.5	97.7	×	×	98.2	255.9	132.4
73.7	186.7	35.9	208.5	135.8	94.0	×	×	93.6	337.5	150.1
83.0	160.1	34.4	211.8	132.7	91.4	×	×	89.4	291.0	154.3
91.3	174.1	34.9	220.1	132.1	88.7	×	×	86.8	263.5	168.8
72.5	169.6	34.6	219.8	132.9	86.6	×	×	84.7	228.1	149.5
79.4	141.4	36.5	229.3	134.3	88.2	×	×	85.8	290.5	139.9
84.2	139.0	35.5	228.4	146.7	87.7	×	×	83.0	257.9	148.0
78.8	150.6	35.4	232.5	129.3	88.0	×	×	82.9	277.9	141.1
79.6	154.1	34.5	241.4	123.4	86.2	×	×	83.7	280.8	149.8
82.3	126.8	35.4	249.2	125.1	88.2	×	×	85.3	282.0	166.0
3.4	△ 17.7	2.6	3.2	1.4	2.3	×	×	1.9	0.4	10.8

1. 生産指数 (特殊分類)

平成27年(2015年) = 100

ウエイト	鉱工業								生産財
		最終 需要財	投資財	資本財		消費財	耐久消費財		
				建設財	非耐久消費財				
	10000.0	6763.3	4816.1	4335.5	480.6	1947.2	470.2	1477.0	3236.7

(原指数)

H31 (R1)年	109.2	105.7	104.3	101.0	133.7	109.0	96.2	113.1	116.5
R2年	104.9	105.9	105.1	101.7	135.7	108.0	71.0	119.8	102.7
R3年	125.4	133.4	137.6	135.5	156.1	122.9	82.4	135.8	108.7

R3 Ⅲ期	123.0	131.9	134.8	133.1	150.4	124.7	80.1	139.0	104.3
Ⅳ期	135.4	148.0	154.5	150.6	190.2	132.0	99.4	142.3	109.0
R4 Ⅰ期	132.4	145.3	153.5	149.7	187.6	125.1	89.0	136.6	105.4
Ⅱ期	132.1	146.0	153.1	154.4	142.0	128.2	94.7	138.8	103.4
Ⅲ期	132.0	146.4	153.8	159.9	99.5	128.0	78.0	143.9	101.9

R3 8	114.0	122.9	124.5	123.1	137.1	119.0	73.3	133.6	95.5
9	128.1	138.4	143.6	141.8	159.9	125.4	90.1	136.6	106.8
10	130.1	140.6	144.9	142.6	165.6	130.1	103.7	138.5	108.1
11	137.0	148.5	159.1	152.6	218.5	122.0	92.2	131.5	113.0
12	139.1	155.0	159.5	156.5	186.4	143.8	102.4	157.0	105.9
R4 1	122.9	131.9	141.3	138.7	164.9	108.9	88.4	115.4	103.9
2	124.4	138.1	143.9	139.9	179.6	123.9	85.5	136.1	95.7
3	149.9	165.8	175.2	170.4	218.4	142.5	93.1	158.2	116.7
4	136.8	151.1	159.5	161.6	140.5	130.3	97.7	140.7	107.0
5	118.4	132.4	137.0	137.2	135.1	120.8	93.4	129.5	89.4
6	141.2	154.4	162.9	164.3	150.3	133.4	93.0	146.3	113.7
7	134.5	149.9	156.1	162.3	100.7	134.5	75.2	153.4	102.2
8	126.5	141.2	149.0	155.6	89.5	121.8	65.9	139.6	96.0
9	135.0	148.2	156.4	161.8	108.3	127.6	92.8	138.7	107.5
10	132.1	145.3	148.3	152.6	109.5	137.7	97.9	150.4	104.4
11	126.6	139.9	143.4	147.3	108.2	131.3	75.1	149.2	98.8

前年

同月比	△ 7.6	△ 5.8	△ 9.9	△ 3.5	△ 50.5	7.6	△ 18.5	13.5	△ 12.6
-----	-------	-------	-------	-------	--------	-----	--------	------	--------

(季節調整済指数)

R3 Ⅲ期	126.3	136.4	141.8	140.0	159.0	123.5	82.0	136.5	106.1
Ⅳ期	131.5	145.0	150.5	149.3	165.6	128.2	88.1	140.7	103.0
R4 Ⅰ期	131.9	144.6	151.5	148.3	179.9	129.6	87.3	143.4	105.4
Ⅱ期	132.9	144.9	151.5	149.6	165.0	129.4	108.2	137.3	107.4
Ⅲ期	135.3	150.8	161.3	167.6	106.0	126.1	78.9	140.7	103.7

R3 8	124.1	135.5	139.0	138.0	161.1	122.9	82.4	135.0	104.4
9	128.3	139.5	146.3	145.4	153.5	124.7	80.0	139.4	104.3
10	129.3	140.5	146.6	144.8	162.6	127.6	87.3	140.0	105.8
11	133.6	146.9	151.5	149.9	169.5	125.9	84.6	139.5	104.4
12	131.5	147.5	153.3	153.3	164.8	131.0	92.3	142.6	98.8
R4 1	132.4	143.8	149.3	147.2	170.2	130.3	88.8	144.4	108.9
2	128.0	141.5	146.1	143.1	178.8	133.1	86.1	148.3	99.1
3	135.3	148.5	159.2	154.5	190.7	125.3	87.1	137.4	108.3
4	136.9	149.5	159.0	157.0	171.0	127.7	106.7	134.4	110.0
5	126.2	137.3	139.3	135.5	167.9	128.4	115.3	133.9	98.7
6	135.5	147.8	156.1	156.2	156.0	132.1	102.6	143.6	113.4
7	135.0	150.2	161.0	164.9	112.1	127.5	81.7	141.3	102.4
8	135.7	153.0	163.6	171.9	102.1	123.9	72.6	139.4	103.8
9	135.2	149.3	159.4	165.9	103.9	126.9	82.4	141.5	105.0
10	132.4	147.0	151.8	157.4	104.9	137.0	84.2	153.7	102.0
11	123.5	138.4	136.5	144.7	83.9	135.5	68.9	158.3	91.3

前月比	△ 6.7	△ 5.9	△ 10.1	△ 8.1	△ 20.0	△ 1.1	△ 18.2	3.0	△ 10.5
-----	-------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-----	--------

2. 出荷指数 (特殊分類) 平成27年(2015年) = 100

	鉱工業	最終 需要財	投資財	資本財		消費財		生産財	
				資本財	建設財	消費財	耐久 消費財	非耐久 消費財	生産財
ウェイト	10000.0	6816.9	4914.4	4497.7	416.7	1902.5	432.7	1469.8	3183.1
(原指数)									
H31 (R1)年	112.6	109.2	109.7	108.0	127.5	108.0	92.1	112.7	120.0
R2年	110.9	108.1	108.6	107.0	126.0	106.9	68.4	118.2	116.9
R3年	133.3	136.5	142.4	141.7	149.7	121.3	76.4	134.6	126.6
R3 Ⅲ期	130.5	135.1	140.2	139.6	146.1	121.8	72.3	136.4	120.7
Ⅳ期	143.8	151.8	158.5	156.1	184.8	134.4	94.8	146.1	126.7
R4 Ⅰ期	136.4	145.4	155.2	152.9	180.6	119.9	83.9	130.4	117.1
Ⅱ期	143.4	153.3	163.5	165.7	140.0	127.2	85.7	139.4	122.0
Ⅲ期	143.0	157.5	169.1	175.1	104.0	127.5	69.6	144.6	112.1
R3 8	121.6	127.3	130.6	130.5	130.8	118.8	67.1	134.0	109.4
9	135.5	140.4	149.5	148.6	159.4	116.9	79.0	128.1	124.9
10	138.4	144.5	152.3	151.3	163.5	124.4	96.9	132.5	125.4
11	144.4	149.8	158.7	153.9	210.3	126.9	90.3	137.6	132.9
12	148.6	161.1	164.6	163.1	180.6	151.9	97.1	168.1	121.8
R4 1	128.2	134.8	148.2	147.3	158.2	100.1	82.1	105.4	114.0
2	127.0	136.2	144.1	141.5	172.8	115.8	80.1	126.3	107.2
3	153.9	165.1	173.4	169.9	210.7	143.7	89.6	159.6	130.0
4	149.2	158.5	168.3	171.1	138.2	133.3	90.4	145.9	129.1
5	127.2	137.8	145.0	146.2	131.9	119.2	84.9	129.3	104.3
6	153.9	163.7	177.2	179.7	150.0	129.0	81.7	142.9	132.7
7	144.2	160.3	171.2	177.4	104.0	132.1	69.4	150.6	109.8
8	137.3	151.1	161.1	167.4	92.8	125.5	59.7	144.9	107.6
9	147.6	161.1	175.1	180.6	115.2	124.9	79.6	138.3	118.9
10	141.1	153.6	160.9	165.2	114.5	134.8	87.9	148.6	114.3
11	133.3	143.2	148.7	151.9	114.1	129.0	71.2	146.0	112.0
前年 同月比	△ 7.7	△ 4.4	△ 6.3	△ 1.3	△ 45.7	1.7	△ 21.2	6.1	△ 15.7

(季節調整済指数)

R3 Ⅲ期	132.8	137.9	145.9	145.3	155.4	118.7	74.9	131.5	122.7
Ⅳ期	137.5	147.7	155.0	155.1	160.1	127.3	82.8	141.7	117.6
R4 Ⅰ期	138.5	147.3	154.9	152.6	174.3	128.3	83.4	141.4	118.1
Ⅱ期	145.2	152.5	161.4	161.2	161.4	128.5	97.1	137.5	128.3
Ⅲ期	145.1	160.0	174.9	181.0	111.2	124.2	71.7	139.3	114.0
R3 8	132.2	138.6	147.1	147.2	154.9	117.0	76.0	129.2	121.4
9	134.4	140.6	150.1	150.0	152.6	117.5	72.9	131.5	120.9
10	135.7	143.1	150.4	150.0	159.2	124.4	80.9	137.9	120.3
11	138.7	149.6	157.2	156.6	162.6	126.0	80.9	141.7	120.1
12	138.0	150.3	157.5	158.6	158.5	131.6	86.7	145.5	112.5
R4 1	139.0	147.9	157.3	157.3	162.0	123.4	84.9	136.8	119.4
2	135.4	144.0	149.4	147.4	173.5	130.8	79.4	146.4	114.2
3	141.0	149.9	158.1	153.1	187.4	130.7	86.0	141.0	120.7
4	144.8	150.7	158.0	157.0	164.2	127.9	97.4	136.6	134.3
5	140.0	147.3	155.0	153.4	164.2	127.3	102.2	135.1	116.2
6	150.9	159.6	171.1	173.1	155.8	130.3	91.6	140.7	134.5
7	141.6	156.9	170.8	175.1	116.3	125.2	74.7	138.3	108.4
8	147.2	161.7	178.1	185.5	107.0	121.8	67.1	137.5	118.5
9	146.4	161.3	175.8	182.3	110.3	125.5	73.4	142.0	115.1
10	140.2	154.6	162.2	167.7	109.7	135.5	73.8	155.6	110.1
11	128.0	143.0	147.3	154.5	88.2	128.1	63.8	150.3	101.2
前月比	△ 8.7	△ 7.5	△ 9.2	△ 7.9	△ 19.6	△ 5.5	△ 13.6	△ 3.4	△ 8.1

3. 在庫指数 (特殊分類) 平成27年(2015年) = 100

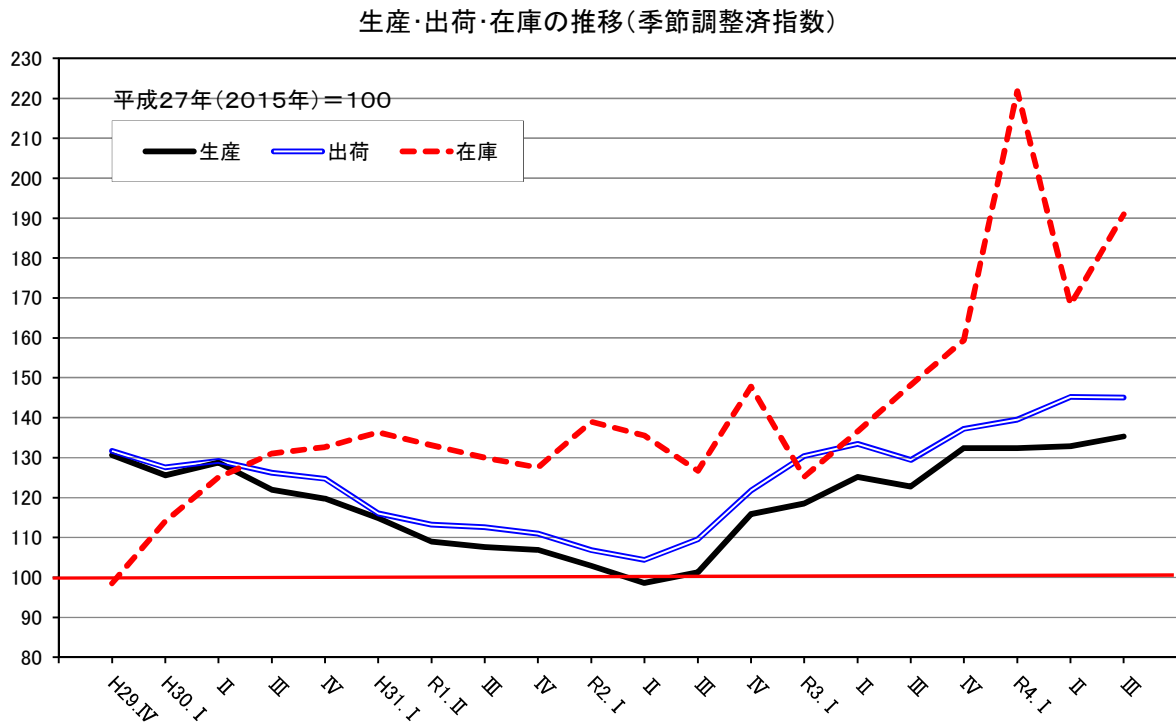
	鉱工業	最終 需要財	投資財	資本財		消費財		生産財	
				資本財	建設財	消費財	耐久 消費財	非耐久 消費財	生産財
ウェイト	10000.0	7171.4	4749.0	4162.2	586.8	2422.4	1171.8	1250.6	2828.6
(原指数)									
H31 (R1)年	122.3	101.8	100.9	102.5	89.7	103.6	91.6	114.8	174.4
R2年	143.4	129.3	144.2	151.9	89.6	100.0	89.1	110.3	179.2
R3年	154.7	141.9	161.4	168.4	111.3	103.8	92.1	114.8	187.1
R3 Ⅲ期	150.2	131.8	139.6	144.5	104.9	116.4	97.3	134.3	196.9
Ⅳ期	154.7	141.9	161.4	168.4	111.3	103.8	92.1	114.8	187.1
R4 Ⅰ期	212.6	133.8	142.6	149.2	95.8	116.6	93.4	138.3	412.4
Ⅱ期	174.5	133.9	146.5	155.1	85.6	109.0	84.8	131.7	277.5
Ⅲ期	193.4	155.3	180.2	193.1	89.0	106.5	89.9	122.1	289.9
R3 8	142.8	120.0	122.6	125.0	105.8	114.8	98.5	130.0	200.7
9	150.2	131.8	139.6	144.5	104.9	116.4	97.3	134.3	196.9
10	153.2	139.5	149.4	155.8	104.0	120.1	99.7	139.2	187.9
11	157.2	141.7	156.6	164.4	100.9	112.7	96.2	128.2	196.5
12	154.7	141.9	161.4	168.4	111.3	103.8	92.1	114.8	187.1
R4 1	168.9	115.7	121.0	121.9	114.5	105.2	86.1	123.2	303.8
2	178.8	132.7	141.3	146.9	101.1	115.9	95.2	135.4	295.5
3	212.6	133.8	142.6	149.2	95.8	116.6	93.4	138.3	412.4
4	192.7	140.0	154.4	162.3	98.3	111.8	91.7	130.6	326.3
5	181.8	134.4	146.5	152.7	102.9	110.6	88.2	131.5	302.0
6	174.5	133.9	146.5	155.1	85.6	109.0	84.8	131.7	277.5
7	190.7	152.2	173.8	186.8	81.8	109.9	86.7	131.7	288.3
8	186.3	162.9	189.1	203.1	89.6	111.6	89.0	132.9	245.4
9	193.4	155.3	180.2	193.1	89.0	106.5	89.9	122.1	289.9
10	200.5	177.9	215.1	233.1	87.4	104.9	89.8	119.0	257.8
11	208.6	195.8	243.6	265.7	86.8	102.2	90.6	113.1	241.0
前年 同月比	32.7	38.2	55.6	61.6	△ 14.0	△ 9.3	△ 5.8	△ 11.8	22.6

(季節調整済指数)

R3 Ⅲ期	148.3	126.9	132.2	134.8	112.3	114.1	94.4	132.7	196.6
Ⅳ期	153.3	139.3	152.6	157.9	112.3	112.6	94.5	130.6	196.3
R4 Ⅰ期	220.8	145.7	166.8	179.0	89.5	111.4	92.8	128.3	407.8
Ⅱ期	168.3	128.3	138.3	148.5	85.3	106.4	86.4	125.0	268.5
Ⅲ期	190.9	149.5	170.7	180.1	95.3	104.4	87.2	120.7	289.4
R3 8	139.3	114.4	114.3	113.4	112.8	114.5	95.9	131.5	178.2
9	148.3	126.9	132.2	134.8	112.3	114.1	94.4	132.7	196.6
10	143.9	129.8	135.5	139.7	103.0	118.0	96.9	137.0	183.8
11	148.2	133.0	142.1	147.1	102.9	115.3	95.4	132.9	187.8
12	153.3	139.3	152.6	157.9	112.3	112.6	94.5	130.6	196.3
R4 1	185.1	129.3	134.2	137.2	110.3	117.1	90.1	142.5	330.3
2	183.9	136.3	148.5	158.7	94.1	115.6	96.5	135.9	313.8
3	220.8	145.7	166.8	179.0	89.5	111.4	92.8	128.3	407.8
4	197.4	146.9	168.7	179.7	94.7	109.1	90.3	125.7	321.2
5	186.5	139.0	156.6	164.8	99.5	106.8	87.9	124.8	309.3
6	168.3	128.3	138.3	148.5	85.3	106.4	86.4	125.0	268.5
7	192.0	151.4	174.6	184.8	93.1	107.3	88.4	125.3	303.1
8	181.8	155.3	176.3	184.3	95.5	111.3	86.7	134.4	217.8
9	190.9	149.5	170.7	180.1	95.3	104.4	87.2	120.7	289.4
10	188.3	165.5	195.1	209.0	86.6	103.0	87.3	117.1	252.2
11	196.7	183.8	221.1	237.8	88.5	104.5	89.9	117.3	230.3
前月比	4.5	11.1	13.3	13.8	2.2	1.5	3.0	0.2	△ 8.7

〈参考〉四半期データの推移

◎ 山梨県 生産・出荷・在庫の推移（季節調整済指数・四半期別）



◎ 山梨県 時系列データ（四半期別）

年	期	生産				出荷				在庫			
		季節調整済指数	前期比	原指数	前年(同期)比	季節調整済指数	前期比	原指数	前年(同期)比	季節調整済指数	前期比	原指数	前年(同期)比
H29	IV	130.6	7.8	128.8	28.0	131.7	7.1	130.8	27.2	98.5	△ 8.7	99.2	4.8
H30	I	125.6	△ 3.8	124.5	15.2	127.6	△ 3.1	126.3	14.9	114.0	15.7	104.4	15.7
	II	128.8	2.5	130.6	13.5	129.2	1.3	129.1	10.1	125.0	9.6	127.2	7.6
	III	122.0	△ 5.3	122.8	0.7	126.2	△ 2.3	127.9	2.7	131.0	4.8	136.8	22.5
	IV	119.7	△ 1.9	119.0	△ 7.6	124.7	△ 1.2	124.9	△ 4.5	132.6	1.2	130.1	31.1
H31	I	114.8	△ 4.1	113.7	△ 8.7	116.0	△ 7.0	113.1	△ 10.5	136.3	2.8	125.2	19.9
	R1	109.0	△ 5.1	108.5	△ 16.9	113.2	△ 2.4	111.1	△ 13.9	133.1	△ 2.3	136.3	7.2
	III	107.6	△ 1.3	108.2	△ 11.9	112.6	△ 0.5	113.6	△ 11.2	130.0	△ 2.3	136.3	△ 0.4
	IV	106.9	△ 0.7	106.3	△ 10.7	111.0	△ 1.4	112.7	△ 9.8	127.5	△ 1.9	122.3	△ 6.0
R2	I	102.9	△ 3.7	103.5	△ 9.0	106.8	△ 3.8	105.0	△ 7.2	139.0	9.0	133.3	6.5
	II	98.6	△ 4.2	97.6	△ 10.0	104.4	△ 2.2	102.5	△ 7.7	135.5	△ 2.5	141.7	4.0
	III	101.3	2.7	100.2	△ 7.4	109.5	4.9	109.2	△ 3.9	126.7	△ 6.5	128.4	△ 5.8
	IV	115.9	14.4	118.2	11.2	121.7	11.1	126.9	12.6	147.8	16.7	143.4	17.3
R3	I	118.1	1.9	118.5	14.5	129.6	6.5	127.5	21.4	124.6	△ 15.7	120.0	△ 10.0
	II	125.4	6.2	124.6	27.7	133.4	2.9	131.6	28.4	137.8	10.6	142.8	0.8
	III	126.3	0.7	123.0	22.8	132.8	△ 0.4	130.5	19.5	148.3	7.6	150.2	17.0
	IV	131.5	4.1	135.4	14.6	137.5	3.5	143.8	13.3	153.3	3.4	154.7	7.9
R4	I	131.9	0.3	132.4	11.7	138.5	0.7	136.4	7.0	220.8	44.0	212.6	77.2
	II	132.9	0.8	132.1	6.0	145.2	4.8	143.4	9.0	168.3	△ 23.8	174.5	22.2
	III	135.3	1.8	132.0	7.3	145.1	△ 0.1	143.0	9.6	190.9	13.4	193.4	28.8

利用に当たって

- 1 目的 本県鉱工業における生産・出荷・在庫の動向を迅速かつ総合的に把握することを目的とする。
- 2 基準時 平成27年（2015年）
平成31年1月分から基準年を平成27年（2015年）に改定した。
- 3 指数の分類 日本標準産業分類に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目し財別に格付けした「特殊分類」の2分類による。
「特殊分類」については、次のとおりである。

	分類	定義
鉱工業 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 最終需要財 <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">投資財</div> <div>消費財</div> </div> </div> <div style="text-align: center;"> 生産財 <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">資本財</div> <div>建設財</div> </div> </div> <div style="text-align: center;"> 消費財 <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">耐久消費財</div> <div>非耐久消費財</div> </div> </div> </div>	最終需要財	鉱工業または他の産業に原材料等として投入されない最終製品
	投資財	資本財と建設財の合計
	資本財	家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの
	建設財	建築工事用の資材及び建築物に付随する内装品及び土木工事用の資材
	消費財	家計で購入される製品
	耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの
	非耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年未満または比較的購入価格が低いもの
	生産財	鉱工業及び他の産業に原材料等として投入される製品

- 4 採用品目 生産指数 111品目 出荷指数 111品目
在庫指数 53品目
- 5 ウェイト 基準年における付加価値額、出荷額、在庫額それぞれについて、鉱工業全体を10000.0とした場合の各業種・品目の構成比である。
- 6 指数の算出

$$\text{個別指数} = \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times 100$$

$$\text{総合指数} = \frac{(\text{個別指数} \times \text{基準時ウェイト}) \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}}$$
- 7 季節調整 平成27年基準における季節調整は、米国センサス局のX-12-ARIMAを用いている。
季節調整済指数は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因、うるう年要因によっても調整されている。（在庫については、季節要因のみ。）

- 8 寄与度 総合の増減比に対してその内訳である業種や品目の影響の度合いがどれだけあるかを示す。
- 9 資料 採用品目の月々の生産数量等は、経済産業省生産動態統計調査、厚生労働省薬事工業生産動態統計調査、山梨県鉱工業指数生産動態統計調査の資料を使用している。
- 10 年間補正 毎年、前年1年間の数値が確定した段階でさかのぼって原指数、季節調整指数を再計算し、補正処理を行う。
- 11 留意事項
- ① 前月比は、季節調整指数を使用し、前年同月比は、原指数を使用して計算している。
四半期の指数について、生産指数、出荷指数については四半期の平均値、在庫指数については期末値を使用している。
また、年指数については、生産指数、出荷指数については年平均値、在庫指数については年末値を使用している。
 - ② 前月比(%) = { (当月の値 - 前月の値) / (前月の値) } × 100
前年同月比(%) = { (当月の値 - 前年同月の値) / (前年同月の値) } × 100
前月比、前年同月比は、それぞれ、前月、前年同月の値との比較を行うため算出している。
 - ③ 業種分類による在庫指数のうち、「鉄鋼業」は指数系列として採用していない。
また、「家具工業」「木材・木製品工業」、在庫指数における、「非鉄金属工業」、「汎用機械工業」、「電気機械工業」、「情報通信機械工業」、「輸送機械工業」については、対象事業所が少数のため、指数値を秘匿としている。
 - ④ 本書で使用している略称、符号は次のとおりである。
「Ⅰ」：1～3月期
「Ⅱ」：4～6月期
「Ⅲ」：7～9月期
「Ⅳ」：10～12月期
「生産」：生産指数
「出荷」：出荷指数
「在庫」：在庫指数
「×」：秘匿（対象事業所数が1又は2の場合）
「△」：マイナス

※R1年Ⅱ期は、平成31年4月～令和元年6月期のことを表す。

令和4年(2022年)11月分山梨県鉱工業指数
山梨県県民生活部統計調査課 調査第二担当
TEL. 055-223-1345
FAX. 055-223-1347
https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/index.html

この冊子は、再生紙を使用しています。

(抄)

2023. **1**
No. **540**

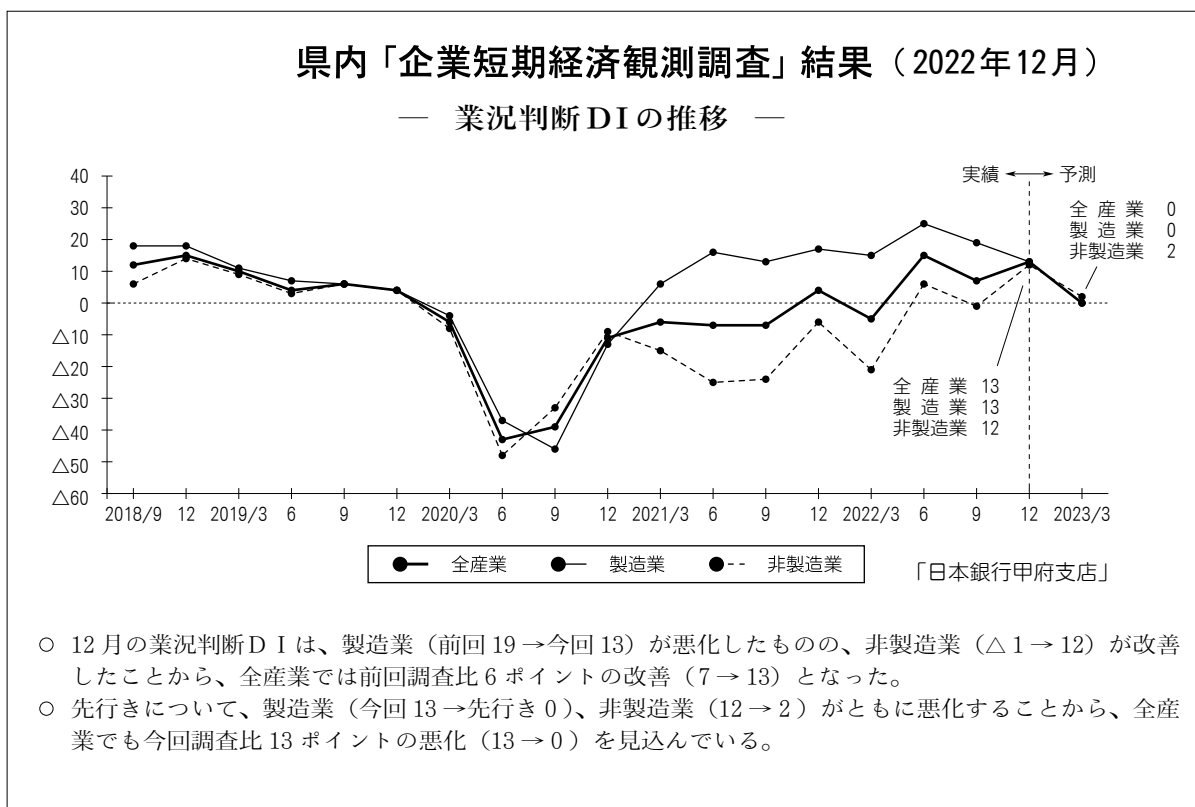
調査月報

県内経済の動向	1
県内主要業界の動向	4
県内経済トピックス	10
主要経済指標	11
駐在員レポート	15

 山梨中央銀行

県内経済の動向

グラフでみる県内景気



概況

最近の県内景気(11月～12月)は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されるなかで、緩やかに持ち直している。生産面においては、機械工業が、全体としては好調に推移しているものの、一部に弱い動きもみられる。需要面においては、個人消費が持ち直している一方、設備投資は減速している。

需要：個人消費は、食料品が堅調に推移しているほか、気温の低下により冬物衣料や暖房器具に動きがみられるなど、持ち直している。設備投資は、資材価格上昇の影響もあり、減速している。

生産：機械工業は、全体としては好調な動きが続いているが、半導体製造装置や電子部品・デバイスなど一部に弱い動きもみられる。地場産業関連は、国内需要の縮小や原材料価格の上昇など厳しい局面が続いているが、一部に回復の動きもみられる。

消費動向

11月～12月の商況をみると、食料品が堅調に推移しているほか、気温の低下により冬物衣料や暖房器具に動きがみられるなど、持ち直し。

11月の乗用車販売は、前年同月比0.3%増（普通車5.3%増、小型車6.7%減）と、3か月連続の前年比増加。

11月の県内観光は、紅葉が見頃を迎え、天候も穏やかな日が続いたことから、各地で賑わい。

建設動向

住宅建設：新設住宅着工戸数（11月）は、前年同月比40.1%増と2か月連続の増加。利用関係別でみると、持家（前年同月比0.4%増）が2か月連続の増加、貸家（同403.1%増）が2か月連続の増加、分譲住宅（同8.7%減）が4か月ぶりの減少。

公共工事：公共工事保証請負額（11月：東日本建設業保証㈱）は85億83百万円で、前年同月比3.1%の減少。発注者別にみると、国が前年同月比19.9%減少、県が同36.3%増加、市町村が同21.0%増加。

雇用情勢

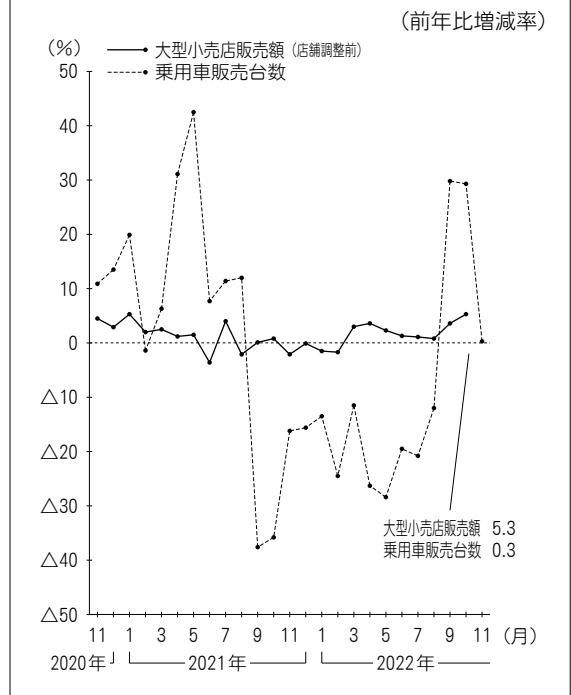
11月の有効求人倍率は1.43倍で、前月と比べて0.02ポイント低下。

新規求人数は、前年同月比0.8%増と21か月連続の増加。産業別では、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業等は増加、建設業、製造業、情報通信業、学術研究・専門・技術サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉、サービス業等は減少。

企業倒産

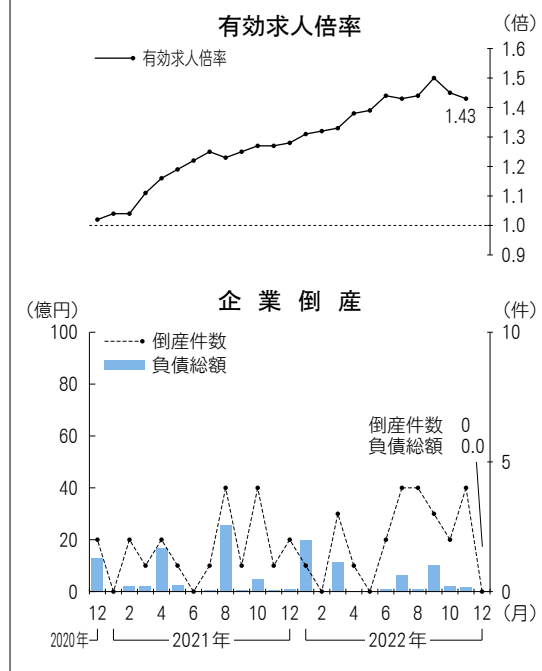
12月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は0件（東京商工リサーチ調べ）。前月と比べて4件減少、負債総額も1億94百万円減少。

大型小売店販売額・乗用車販売台数推移



「経済産業省・山梨県自動車販売店協会」

雇用情勢・企業倒産の推移



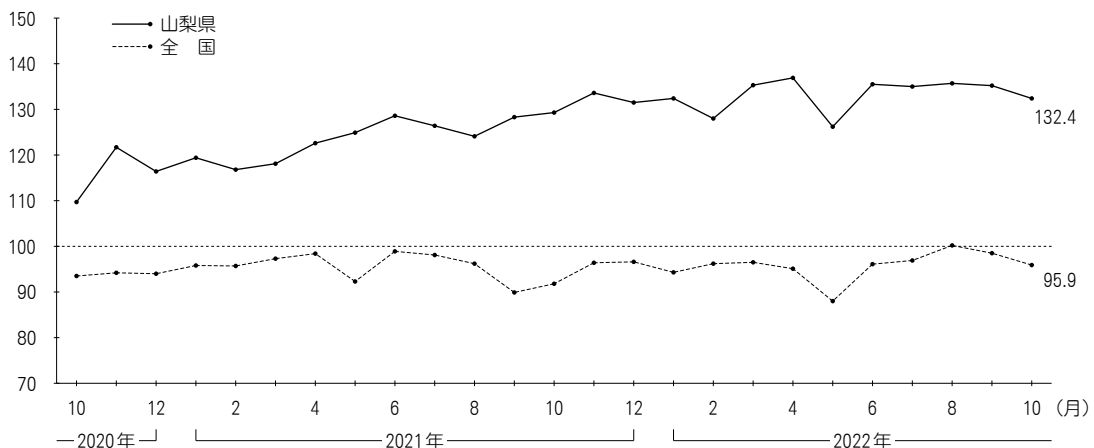
「山梨労働局職業安定部・東京商工リサーチ甲府支店」

生産・出荷動向

- 食品**：ミネラルウォーターは、生活必需品として定着するなか、好調な出荷が続く。ワインは、飲食店向けが上向いているほか、宿泊業者向けや土産店向けも回復。即席麺や乾麺等の麺類は、受注が好調に推移し、高稼働が続く。
- ニット**：受注面をみると、総じて持ち直し。気温の低下や旅行機会の増加で需要が拡大するなか、中国製品の入荷遅延による供給不足や生産の国内回帰から、追加受注が増加。生産面では、秋冬物が最終段階にあるも、引き続き繁忙。
- 織物**：婦人服地は、百貨店等店頭での高級品の良好な動きを背景に、受注・生産が持ち直し。紳士服裏地は、リモートワークからオフィス勤務へ回帰の動きが強まり、スーツ需要が回復。洋傘地は、受注・生産が底堅く推移。
- 宝飾**：受注・生産は、持ち直しの動きが続く。国内の展示会等を通して、県外事業者からの受注が増加傾向にあるほか、海外事業者からの受注も伸長。素材面では、真珠や翡翠の人気の高まっているほか、金製品も堅調に推移。
- 電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス**：コネクタは、スマートフォン向けや遊戯機器向けが弱含んでいる一方、車載向けやウェアラブル端末向けなどは堅調。水晶振動子は、受注・生産が減速。電源装置は、民間企業向け、インフラ向けともに受注・生産が堅調に推移。
- 生産用機械**：半導体製造装置は、取扱分野によりばらつきがみられるものの、全体として受注が増勢鈍化傾向。一方、これまでの受注残への対応から、生産は高水準を維持。工作機械および関連部品は、受注・生産が堅調に推移。
- 輸送機械**：自動車部品は、受注・生産が上向き傾向で推移。半導体などの供給不足は本格的な回復には至っておらず、中国での新型コロナ感染拡大もあり、先行きは不透明。原材料やエネルギー価格などの高騰により、採算面に厳しさ。
- 汎用・業務用機械**：バルブ関連部品は、プラントや工場向けの受注・生産が横ばい圏で推移。デジタルカメラ部品は、ミラーレスカメラ向けを中心に受注・生産が持ち直し。業務用プリンタ部品は、海外需要の回復から受注・生産が前年を上回る水準。

山梨県鉱工業生産指数推移

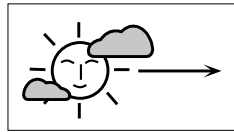
(2015年 = 100、季節調整済)



「経済産業省・県統計調査課」

- 10月の鉱工業生産指数は132.4で前月比2.1%の低下。
- 前年比(原数値)では1.5%の上昇となり、25か月連続の上昇。
- 業種別にみると、食品工業、窯業・土石製品工業、業務用機械工業等の7業種が上昇、生産用機械工業、電子部品・デバイス工業、電気機械工業等の9業種が低下。

**電気機械
情報通信機械
電子部品・デバイス**



コネクタは車載向けなどが堅調

コネクタは、スマートフォン向けや遊戯機器向けが弱含んでいる一方、車載向けやウェアラブル端末向け、基地局向けなどは堅調に推移している。

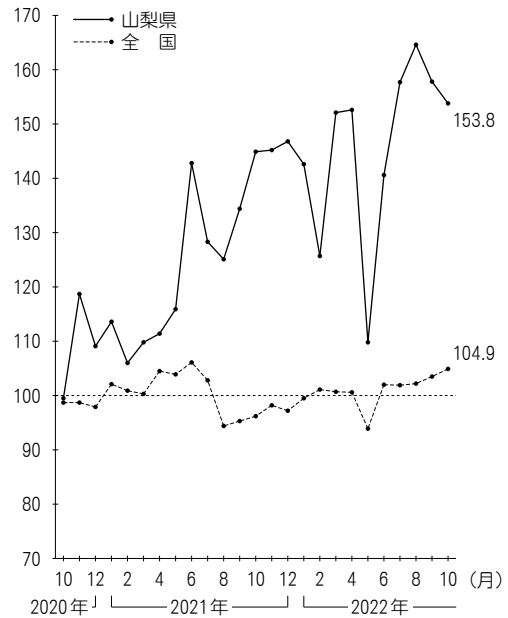
水晶振動子は、在庫調整や中国での新型コロナ感染拡大などの影響で、受注・生産が減速している。先行きについて、しばらくは足踏み状態とする見方も。

電源装置は、民間企業向け、インフラ向けともに受注・生産が堅調に推移している。

その他の電子部品は、巣ごもり需要の一巡などにより、スマートフォンやパソコンなど情報通信機器向けの受注・生産が減少している。

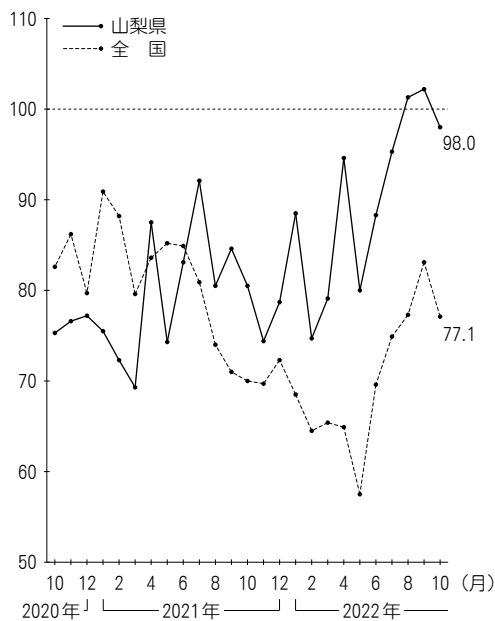
電気機械工業生産指数推移

(2015年=100、季節調整済)



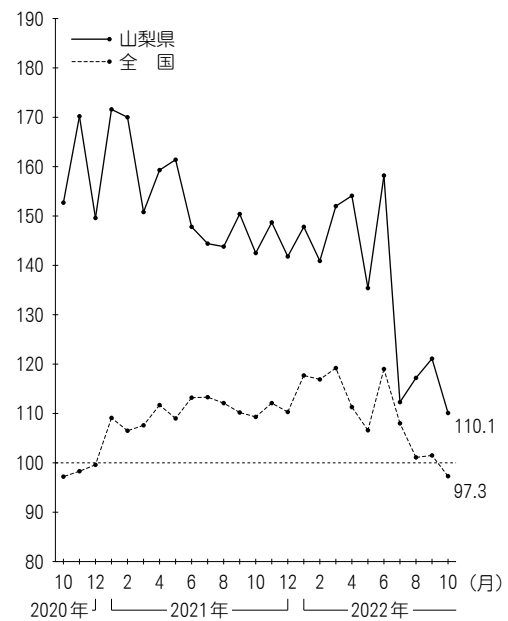
情報通信機械工業生産指数推移

(2015年=100、季節調整済)



電子部品・デバイス工業生産指数推移

(2015年=100、季節調整済)



山梨県の主要経済指標①

摘要	県人口 (注1)		県税収入済額 (注2)		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数 (注3)		景気動向指数 (CI) (注4)			消費者物価指数 (甲府市)	
	人口	前年比	金額	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	先行指数	一致指数	運行指数	指数	前年比
	人	%	億円	%	2015年=100	%	2015年=100	%	2015年=100	%	2015年=100			2020年=100	%
2019年	812,056	△ 0.8	936	△ 3.5	109.2	△ 12.1	112.6	△ 11.4	122.3	△ 6.0	105.5	100.6	95.4	100.5	0.7
2020年	809,974	△ 0.3	922	△ 1.5	104.9	△ 3.9	110.9	△ 1.5	143.4	17.3	105.2	101.4	82.9	100.0	△ 0.5
2021年	805,338	△ 0.6	976	5.8	125.4	19.5	133.3	20.2	154.7	7.9	126.4	112.4	98.7	99.3	△ 0.7
2021.11	805,118	△ 0.6	74	4.3	133.6	14.5	138.7	14.0	148.2	1.3	125.1	116.7	98.3	99.2	△ 0.1
12	804,749	△ 0.6	105	3.7	131.5	13.6	138.0	11.8	153.3	7.9	126.4	112.4	98.7	99.2	0.1
2022.1	804,245	△ 0.6	77	14.2	132.4	11.8	139.0	6.1	185.1	32.4	127.2	112.9	98.9	99.5	△ 0.4
2	803,297	△ 0.6	38	△ 7.7	128.0	9.6	135.4	6.1	183.9	34.7	121.0	107.9	106.8	99.8	0.0
3	802,500	△ 0.6	57	11.5	135.3	13.6	141.0	8.4	220.8	77.2	134.8	114.3	105.7	100.3	0.3
4	800,598	△ 0.6	59	4.5	136.9	10.0	144.8	10.7	197.4	24.5	141.0	117.8	105.4	100.7	1.3
5	801,835	△ 0.6	133	17.2	126.2	2.6	140.0	6.4	186.5	28.8	132.2	121.0	109.8	100.9	1.2
6	801,968	△ 0.5	170	1.7	135.5	5.4	150.9	9.7	168.3	22.2	148.5	123.9	108.5	101.1	2.6
7	902,088	11.9	84	△ 5.3	135.0	6.1	141.6	7.3	192.0	36.5	137.1	123.8	109.3	101.7	2.9
8	802,098	△ 0.5	64	5.2	135.7	11.0	147.2	12.9	181.8	30.5	145.5	128.4	116.8	102.1	3.2
9	801,878	△ 0.5	52	2.2	135.2	5.4	146.4	8.9	190.9	28.8	142.3	129.2	115.2	102.5	3.4
10	801,620	△ 0.5	66	△ 1.3	132.4	1.5	140.2	2.0	188.3	30.9	139.8	129.0	118.4	103.2	4.5
11	801,619	△ 0.4	64	△ 12.4											
出所	県統計調査課		県税務課		県統計調査課						県統計調査課			県統計調査課	

全国の主要経済指標①

摘要	人口 (注1)		租税収入 (注2)		鉱工業生産指数		鉱工業出荷指数		鉱工業在庫指数 (注3)		景気動向指数 (CI) (注4)			消費者物価指数	
	人口	前年比	金額	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	先行指数	一致指数	運行指数	指数	前年比
	千人	%	億円	%	2015年=100	%	2015年=100	%	2015年=100	%	2015年=100			2020年=100	%
2019年	126,167	△ 0.2	584,415	△ 3.2	101.1	△ 3.0	100.2	△ 2.7	101.7	1.2	91.2	95.5	102.5	100.0	0.5
2020年	125,708	△ 0.4	608,216	4.1	90.6	△ 10.4	89.6	△ 10.6	93.2	△ 8.4	96.5	89.9	90.9	100.0	0.0
2021年	125,502	△ 0.2	670,379	10.2	95.7	5.6	93.7	4.6	97.8	4.9	102.8	96.8	94.8	99.8	△ 0.2
2021.11	125,443	△ 0.2	81,937	8.8	96.4	4.8	93.9	3.3	99.8	5.5	102.0	96.3	94.1	100.1	0.6
12	125,380	△ 0.2	38,702	8.3	96.6	2.2	94.1	2.5	99.9	4.9	102.8	96.8	94.8	100.1	0.8
2022.1	125,309	△ 0.3	64,406	17.9	94.3	△ 0.8	92.7	△ 1.3	99.2	4.7	101.3	96.1	94.4	100.3	0.5
2	125,194	△ 0.3	56,467	9.9	96.2	0.5	92.7	△ 1.5	101.3	7.1	100.2	96.3	95.0	100.7	0.9
3	125,103	△ 0.3	35,292	27.9	96.5	△ 1.7	93.3	△ 2.4	100.9	6.8	100.7	96.9	95.2	101.1	1.2
4	125,071	△ 0.3	61,693	38.5	95.1	△ 4.9	93.0	△ 4.6	98.6	4.1	102.4	97.0	96.3	101.5	2.5
5	125,072	△ 0.2	112,443	△ 6.8	88.0	△ 3.1	89.2	△ 3.1	97.7	3.8	100.8	95.9	95.8	101.8	2.5
6	125,104	△ 0.1	27,787	14.8	96.1	△ 2.8	93.7	△ 2.9	99.6	4.2	100.5	99.2	97.6	101.8	2.4
7	125,125	△ 0.4	69,133	10.5	96.9	△ 2.0	94.8	△ 2.1	100.2	5.1	99.3	99.8	97.3	102.3	2.6
8	p124,780	△ 0.7	59,982	10.4	100.2	5.8	97.5	5.9	100.9	5.9	101.6	101.3	98.7	102.7	3.0
9	p124,750	△ 0.6	38,515	9.0	98.5	9.6	95.1	9.4	103.8	6.1	98.2	100.8	99.0	103.1	3.0
10	p124,830	△ 0.5	45,590	6.8	95.9	3.7	94.1	4.8	103.0	4.7	98.6	99.6	99.2	103.7	3.7
11	p124,850	△ 0.5			p95.2	△ 1.3	p93.0	△ 0.9	p103.6	3.8				103.9	3.8
出所	総務省		財務省		経済産業省						内閣府			総務省	

(注1) 年数値は10月1日現在 (注2) 年数値は年度計 (注3) 年数値は年平均 (注4) 年数値は12月現在 (注5) pは速報値

山梨県の主要経済指標 ②

摘要	大型小売店販売額 (店論調整前)		コンビニエンスストア 販売額		家電大型専門店 販売額		ドラッグストア 販売額		ホームセンター 販売額		新車登録台数(除軽自)				軽自動車 販売台数	
	金額		金額		金額		金額		金額		合計		乗用車			
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
年月	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	台	%	台	%	台	%
2019年	900	2.0	928	0.1	190	1.1	541	2.8	276	1.0	21,973	△ 2.1	18,986	△ 2.9	16,378	△ 1.1
2020年	1,189	1.9	875	△ 5.6	214	12.3	578	6.9	314	13.8	19,714	△ 10.3	16,861	△ 11.2	14,915	△ 8.9
2021年	1,248	0.7	893	2.0	221	3.2	541	△ 6.5	324	3.2	20,081	1.9	16,605	△ 1.5	14,249	△ 4.5
2021.11	99	△ 2.1	73	△ 0.3	16	△ 5.2	45	△ 3.4	26	0.9	1,560	△ 16.2	1,291	△ 16.2	1,138	△ 17.0
12	129	△ 0.1	80	3.2	24	2.6	48	△ 6.1	34	2.4	1,533	△ 14.2	1,280	△ 15.6	1,010	△ 15.2
2022.1	102	△ 1.5	72	3.2	23	9.9	45	5.2	25	7.4	1,616	△ 5.8	1,286	△ 13.5	1,039	△ 18.0
2	94	△ 1.7	65	1.0	16	1.1	44	7.1	23	6.6	1,447	△ 17.9	1,140	△ 24.5	1,145	△ 24.6
3	106	3.0	75	2.9	21	14.8	46	5.3	27	5.6	2,395	△ 12.2	2,025	△ 11.5	1,557	△ 23.2
4	102	3.6	74	3.5	17	7.4	46	4.6	29	△ 2.3	1,178	△ 28.6	1,019	△ 26.3	1,030	△ 19.2
5	107	2.3	79	3.9	17	△ 15.9	47	3.6	31	△ 1.5	1,085	△ 24.4	895	△ 28.4	867	△ 20.8
6	99	1.3	78	6.2	18	2.6	48	5.6	27	5.3	1,259	△ 24.4	1,036	△ 19.5	1,231	9.5
7	108	1.1	84	5.3	21	△ 2.3	52	10.2	28	△ 0.1	1,460	△ 23.0	1,224	△ 20.8	1,225	10.4
8	109	0.8	86	7.7	18	△ 2.4	53	10.7	27	1.1	1,228	△ 16.2	1,058	△ 12.0	1,041	12.7
9	102	3.6	79	2.8	18	6.5	48	9.1	24	△ 3.3	1,656	18.3	1,412	29.8	1,386	55.9
10	110	5.3	81	8.1	17	4.0	48	8.8	28	1.6	1,467	15.5	1,287	29.3	1,328	52.3
11	p104	4.3	p78	7.2	p17	2.0	p49	7.6	p26	△ 0.2	1,491	△ 4.4	1,295	0.3	1,352	18.8
出所	経済産業省									山梨県自動車販売店協会				県軽自動車協会		

全国の主要経済指標 ②

摘要	大型小売店販売額 (店論調整前)		コンビニエンスストア 販売額		家電大型専門店 販売額		ドラッグストア 販売額		ホームセンター 販売額		新車登録台数(除軽自)				軽自動車 販売台数	
	金額		金額		金額		金額		金額		合計		乗用車			
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千台	%	千台	%	千台	%
年月	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	千台	%	千台	%	千台	%
2019年	193,962	△ 1.3	121,841	1.7	45,454	3.5	68,356	5.6	32,748	△ 0.3	3,308	△ 1.8	2,817	△ 2.5	1,910	△ 0.7
2020年	195,050	△ 6.6	116,423	△ 4.4	47,928	5.1	72,841	6.6	34,964	6.8	2,902	△ 12.3	1,103	△ 10.4	1,718	△ 10.1
2021年	199,071	0.6	117,601	1.3	46,867	△ 2.3	73,066	0.3	33,905	△ 3.0	2,820	△ 2.9	2,394	△ 3.2	1,653	△ 3.8
2021.11	17,078	1.5	9,572	△ 1.0	3,579	△ 10.6	5,909	1.1	2,708	△ 4.0	222	△ 13.1	188	△ 13.9	133	△ 16.0
12	21,392	1.4	10,596	3.8	4,728	△ 8.3	6,581	1.2	3,302	△ 4.3	221	△ 10.1	191	△ 9.1	118	△ 13.6
2022.1	16,767	2.6	9,537	2.9	4,235	△ 1.7	6,175	5.7	2,505	△ 2.6	209	△ 12.4	182	△ 12.6	123	△ 17.1
2	15,036	0.1	8,721	0.6	3,466	△ 0.8	5,802	4.5	2,246	△ 4.1	215	△ 18.5	184	△ 18.6	141	△ 17.0
3	17,053	1.5	9,960	1.7	4,536	2.6	6,225	4.6	2,671	△ 2.2	330	△ 14.7	284	△ 13.5	186	△ 18.9
4	16,242	4.0	9,873	2.7	3,578	1.4	6,189	3.1	2,986	△ 1.5	180	△ 14.9	153	△ 16.0	121	△ 13.4
5	16,809	8.5	10,078	3.5	3,704	△ 3.3	6,284	1.7	3,101	△ 3.9	163	△ 16.7	136	△ 17.9	100	△ 20.3
6	16,735	1.3	10,141	4.2	3,927	3.5	6,378	3.4	2,811	△ 0.7	199	△ 15.7	169	△ 14.4	130	△ 0.4
7	17,704	2.8	10,844	3.4	4,276	△ 3.3	6,764	6.8	2,874	△ 2.2	216	△ 13.3	186	△ 12.2	135	3.8
8	16,776	3.8	10,720	5.2	3,635	△ 1.7	6,774	5.3	2,742	△ 1.1	181	△ 13.3	154	△ 12.1	111	△ 1.9
9	16,304	4.1	10,206	2.3	3,777	6.4	6,369	5.6	2,569	△ 3.2	244	17.7	211	24.9	153	35.6
10	17,326	4.1	10,577	6.5	3,516	0.1	6,450	6.1	2,846	1.7	214	19.5	186	23.9	148	43.9
11	p17,594	2.4	p10,324	7.9	p3,589	0.3	p6,377	7.9	p2,673	△ 1.3	224	1.0	192	2.3	156	16.8
出所	経済産業省									日本自動車販売協会連合会				全国軽自動車協会連合会		

(注1) p は速報値

山梨県の主要経済指標 ③

摘要	家計(勤労者世帯)(注1)				現金給与総額 (規模30人以上)		所定外労働時間 (規模30人以上) (製造業)		推計常用労働者 (規模30人以上)		新規求職者数 (注2)		新規求人数 (注2)		求人倍率 (注2)		雇用保険 受給者実人員 (注2)		
	消費支出金額		同実質指数		金額	指数 前年比	時間	指数 前年比	人数	指数 前年比	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	人数	前年比	
	金額	前年比	指数	前年比															
	年月	円	%	%	%	円	%	時間	%	人	%	人	%	人	%	倍	倍	人	%
2019年	328,322	10.8	106.7	10.0	330,353	△3.7	18.9	△9.6	159,031	△0.8	37,380	0.7	73,715	△4.9	1.97	1.37	27,779	7.7	
2020年	306,085	△6.8	100.0	△6.3	327,178	△1.0	16.5	△12.3	156,248	△1.6	36,079	△3.5	60,098	△18.5	1.67	1.01	36,914	32.9	
2021年	313,311	2.4	103.1	3.1	333,746	2.2	18.5	11.5	152,400	△2.5	35,022	△2.9	70,440	17.2	2.01	1.26	29,478	△20.1	
2021.11	440,864	24.3	145.2	24.4	279,500	△5.2	19.0	6.2	149,169	△4.3	2,721	5.3	5,433	9.6	2.07	1.27	2,314	△27.4	
12	367,895	16.0	121.2	15.8	633,973	6.4	17.4	△6.9	148,863	△4.3	2,252	△2.3	6,052	16.9	2.22	1.28	2,298	△21.7	
2022.1	355,598	27.4	116.8	27.9	281,654	2.7	17.4	△2.5	154,683	△2.1	3,386	2.7	6,664	27.9	2.02	1.31	2,206	△20.9	
2	285,665	6.8	93.5	6.9	276,220	1.2	18.4	△0.9	154,341	0.1	2,980	△10.9	5,878	3.1	2.00	1.32	2,182	△18.2	
3	376,699	18.4	122.7	18.1	286,082	△1.0	20.1	0.7	153,562	0.1	3,419	1.0	7,110	9.4	2.10	1.33	2,170	△17.9	
4	357,509	16.5	116.0	15.0	276,521	△1.6	19.4	1.4	155,425	0.2	3,650	△3.3	5,971	15.8	2.16	1.38	2,026	△17.4	
5	284,221	0.4	92.0	△0.8	280,187	△1.8	18.4	9.1	155,598	1.5	2,961	7.6	5,953	14.9	2.12	1.39	2,076	△19.8	
6	266,329	1.5	86.1	△1.0	527,016	6.7	20.1	6.6	156,075	1.6	2,821	7.7	7,164	14.2	2.30	1.44	2,344	△13.9	
7	271,472	△9.7	87.2	△12.3	381,364	5.3	19.8	6.2	155,747	1.1	2,530	△3.9	6,193	13.9	2.30	1.43	2,493	△9.8	
8	308,489	△7.1	98.7	△9.9	286,430	3.1	19.7	18.3	155,628	5.9	2,725	3.5	5,810	18.3	2.30	1.44	2,638	△4.4	
9	265,829	△8.7	84.7	△11.7	277,081	△1.9	20.2	8.8	154,729	1.4	2,805	0.8	7,497	21.6	2.53	1.50	2,510	△3.1	
10	296,452	△4.3	93.8	△8.4	p290,564	4.1	p20.7	6.4	p154,438	1.1	2,827	△7.8	6,428	4.1	2.28	1.45	2,334	△4.1	
11																			
出所	総務省				県統計調査課						山梨労働局								

全国の主要経済指標 ③

摘要	家計(勤労者世帯)				現金給与総額 (規模30人以上)		所定外労働時間 (規模30人以上) (製造業)		推計常用労働者 (規模30人以上)		新規求職者数 (注2)		新規求人数 (注2)		求人倍率 (注2)		完全失業者			
	消費支出金額		平均消費性向		金額	指数 前年比	時間	指数 前年比	人数	指数 前年比	人数	前年比	人数	前年比	新規	有効	失業数	失業率		
	金額	前年比	平均消費性向	前年比																
	年月	円	%	%	ポイント	円	%	時間	%	千人	%	千人	%	千人	%	倍	倍	万人	%	
2019年	323,853	2.7	67.9	△1.4	371,507	0.6	16.7	△7.2	29,513	0.3	4,713	△2.6	11,081	△5.4	2.35	1.55	162	2.4		
2020年	305,811	△5.6	38.7	△29.2	365,100	△1.7	13.4	△19.8	29,613	0.3	4,626	△1.8	8,771	△20.8	1.90	1.10	191	2.8		
2021年	309,469	1.2	37.2	△1.5	368,493	0.9	15.3	14.2	29,547	△0.2	4,630	0.1	9,629	9.8	2.08	1.16	193	2.8		
2021.11	304,207	△0.4	77.2	△2.3	319,111	1.2	16.1	7.3	29,500	△0.4	354	10.0	796	12.3	2.08	1.17	182	2.8		
12	344,135	3.1	37.3	△1.3	668,518	2.0	16.6	8.5	29,490	△0.4	310	2.8	810	12.2	2.19	1.17	171	2.7		
2022.1	314,358	5.6	79.4	1.9	308,444	0.7	14.9	6.4	29,333	△0.4	416	6.0	902	14.6	2.16	1.20	185	2.8		
2	285,289	1.6	63.3	0.3	305,157	2.4	16.6	10.7	29,103	△1.3	382	△3.9	839	9.5	2.21	1.21	180	2.7		
3	343,686	△0.1	83.3	△4.2	330,619	3.3	16.8	7.0	28,888	△1.3	438	△3.8	891	7.5	2.16	1.22	180	2.6		
4	344,126	1.6	78.8	1.8	321,785	2.6	16.7	6.4	29,364	△1.2	518	△3.6	849	12.3	2.19	1.23	188	2.5		
5	314,979	△0.9	87.6	1.2	314,136	1.6	14.4	1.4	29,394	△1.0	408	15.4	804	17.2	2.27	1.24	191	2.6		
6	300,489	6.9	40.8	2.0	561,918	2.8	15.4	1.3	29,467	△0.6	386	3.3	892	12.0	2.24	1.27	186	2.6		
7	317,575	4.9	60.2	4.0	439,461	3.3	16.1	△1.8	29,479	△0.6	341	△5.0	855	12.8	2.40	1.29	176	2.6		
8	322,438	9.6	70.4	5.4	313,414	2.4	15.1	0.0	29,399	△0.6	358	1.3	839	15.1	2.32	1.32	177	2.5		
9	313,989	6.2	77.7	1.8	314,098	3.1	16.1	8.1	29,361	△0.5	362	△1.7	888	9.8	2.27	1.34	187	2.6		
10	328,684	5.1	70.0	1.8	312,841	2.4	16.5	9.3	29,373	△0.5	362	△6.3	925	7.9	2.33	1.35	178	2.6		
11																				
出所	総務省				厚生労働省														総務省	

(注1) 調査世帯数などの影響から前年比が大きく変動する場合があります。(注2) 年数値は年度計または年度平均 (注3) pは速報値

山梨県の主要経済指標④

摘要	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定(注2)			
	合計		持家		貸家		面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比									金額	前年比	金額	前年比
	年月	戸	%	戸	%	戸	%	m ²	%	億円	%	件	%	百万円	%	億円	%	億円
2019年	4,841	7.1	3,107	8.7	1,007	△10.6	427,750	△9.2	1,439	6.2	41	△14.6	9,839	51.4	45,556	1.5	18,786	△1.0
2020年	4,101	△15.3	2,729	△12.2	815	△19.1	229,784	△46.3	1,390	△3.4	31	△24.4	6,856	△30.3	49,567	8.8	20,003	6.5
2021年	4,513	10.0	2,997	9.8	960	17.8	428,888	86.6	1,445	4.0	19	△38.7	5,681	△17.1	51,037	3.2	19,992	△0.1
2021.11	314	△15.8	236	△14.8	32	△38.5	25,554	121.2	89	19.9	1	△50.0	65	△81.2	50,534	3.6	19,819	1.5
12	407	16.6	291	14.6	57	62.9	16,693	58.0	82	60.1	2	0.0	93	△92.8	51,037	3.2	19,992	△0.1
2022.1	310	6.9	211	△4.1	47	88.0	5,681	△43.7	31	△48.9	1	-	2,000	-	50,515	2.3	19,925	△1.1
2	407	9.1	224	3.2	119	8.2	42,059	68.2	49	△35.1	0	-	0	-	50,417	1.6	19,986	△1.3
3	375	12.6	190	△24.0	132	158.8	16,939	△28.8	129	△15.9	3	200.0	1,151	411.6	51,074	1.7	20,653	△1.4
4	340	71.7	178	25.4	47	80.8	30,242	208.5	155	△24.1	1	△50.0	20	△98.8	51,543	3.4	20,328	2.5
5	349	△10.5	259	3.2	66	△4.3	25,006	△4.5	116	29.8	0	-	0	-	51,738	3.2	20,424	2.5
6	441	17.0	289	16.1	103	12.0	11,508	△86.8	197	24.0	2	-	101	-	52,411	3.2	20,398	2.5
7	398	△30.5	231	△22.5	126	△37.3	24,148	22.4	111	△34.9	4	300.0	652	858.8	52,269	3.4	20,663	3.6
8	402	8.4	260	△11.9	94	168.6	45,363	67.8	126	5.0	4	0.0	93	△96.3	52,184	3.2	20,743	4.9
9	319	△19.4	254	△5.9	24	△75.3	18,771	△85.7	191	0.0	3	200.0	1,041	1453.7	51,778	3.2	20,873	5.2
10	537	9.4	279	0.4	214	29.7	26,105	△1.5	95	△26.8	2	△50.0	200	△58.5	51,729	2.9	20,803	5.2
11	440	40.1	237	0.4	161	403.1	14,994	△41.3	86	△3.1	4	300.0	194	198.5				
出所	国土交通省								東日本建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行			

全国の主要経済指標④

摘要	新設住宅着工戸数						着工建築物床面積 (除く居住専用)		公共工事 保証請負額 (注1)		企業倒産				金融機関勘定(注2)			
	合計		持家		貸家		面積	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比	預金		貸出	
	戸数	前年比	戸数	前年比	戸数	前年比									金額	前年比	金額	前年比
	年月	百戸	%	百戸	%	百戸	%	千m ²	%	億円	%	件	%	億円	%	百億円	%	百億円
2019年	9,051	△4.0	2,887	1.9	3,423	△13.6	53,666	△4.5	150,255	1.1	8,383	1.8	14,232	△4.2	79,957	2.6	52,466	1.8
2020年	8,153	△9.9	2,611	△9.6	3,068	△10.4	47,691	△11.1	153,658	△2.5	7,773	△7.3	12,200	△14.3	87,619	9.6	55,444	5.7
2021年	8,565	5.1	2,856	9.4	3,214	4.8	51,894	8.8	140,503	△5.2	6,030	△22.4	11,507	△5.7	90,777	3.6	56,114	1.2
2021.11	734	3.7	253	5.5	268	1.4	3,959	9.6	7,534	△14.5	510	△10.4	941	△7.8	90,843	3.6	55,836	0.6
12	684	4.2	227	△0.4	252	3.3	4,966	33.7	6,859	△6.6	504	△9.7	932	△32.7	90,777	3.6	56,114	1.2
2022.1	597	2.1	181	△5.6	231	16.6	3,830	6.8	5,209	△17.7	452	△4.6	669	△17.8	90,994	3.6	55,977	0.9
2	646	6.3	193	△5.6	236	4.6	4,033	13.2	5,897	△9.1	459	2.9	710	5.2	91,211	3.4	56,171	0.9
3	761	6.0	202	△9.4	323	18.6	3,901	△17.6	14,499	△4.3	593	△6.5	1,697	20.0	92,740	3.2	56,719	1.6
4	762	2.2	210	△8.1	294	2.1	5,305	17.8	20,105	△4.0	486	1.9	813	△3.4	93,188	3.1	56,684	1.8
5	672	△4.3	213	△6.9	259	3.5	4,121	△11.8	12,672	△10.3	524	11.0	874	△48.2	93,454	2.9	56,855	2.3
6	746	△2.2	232	△11.3	303	1.6	5,006	9.3	16,519	0.1	546	0.9	12,326	1,697.7	93,081	3.1	57,225	3.1
7	730	△5.4	224	△14.1	297	1.5	5,366	25.1	12,924	△7.0	494	3.8	846	18.3	93,193	3.5	57,455	3.4
8	777	4.6	223	△11.2	313	8.9	4,495	33.9	11,562	△0.1	492	5.6	1,114	22.5	93,194	3.4	57,626	3.8
9	739	1.0	222	△13.3	306	8.1	3,870	△1.4	12,985	2.4	599	18.6	1,449	59.4	92,796	3.1	58,028	4.2
10	766	△1.8	218	△18.7	320	7.3	3,962	△31.2	10,558	△1.9	596	13.5	870	△11.6	93,490	3.5	58,203	4.6
11	724	△1.4	215	△15.1	299	11.4	3,851	△2.7	6,961	△7.6	581	13.9	1,156	22.8				
出所	国土交通省								東日本・西日本・北海道建設業保証		東京商工リサーチ				日本銀行			

(注1) 年数値は年度計 (注2) 年数値は年末残高

駐在員レポート

香港における物価水準と為替相場について

世界的なインフレや為替相場の急変もあり、香港に限らず海外で暮らす邦人は大きな影響を受けています。今後、海外へ渡航される予定がある方にとっても、現地の物価水準などはこれまで以上に気になるところではないでしょうか。今回は、米国利上げ以降における香港ドルの為替相場動向（対日本円）と、香港の物価水準についてご紹介します。

人材コンサルティング会社のECA インターナショナルが2022年6月に発表した外国人駐在員の生活費ランキングでは、香港は3年連続となる首位となりました（図1）。

ECA インターナショナルによると、香港の物価上昇率は前年比+3%で、世界の他都市と比べ上昇率は低い状況にあります。それにもかかわらず、香港が首位を維持した背景には、為替相場においてドルペッグ制^(※)を採用していることも要因であるとされています。ドルペッグ制により、香港ドルは「1 USD = HKD7.75 ~ 7.85」の範囲に固定されており、他の通貨が下落している中で高止まっていることが、駐在員の負担を大きくしていることにつながっていると分析されています。

(※)ドルペッグ制：自国通貨と米ドルの為替レートを一定割合に保つ制度。

このことは、直近1年間の日本円に対する香港ドルと米ドルの為替相場推移からも見て取れ、米ドル・香港ドル共に日本円に対して同様の推移で通貨高に振れています（図2）。

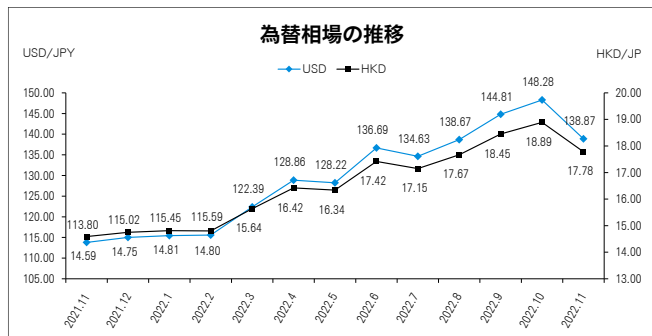
私も、香港駐在を通じての肌感覚として、香港の物価水準は日本と比較して1.5倍程度であると感じています。特に外食については、日本との物価水準の違いをより鮮明に感じています。以下の通り、ファーストフードを中心に価格を比較してみました。為替相場が円安に推移していることもあり、円に換算すると驚くような価格となっている品目もあることにお気づきいただけると思います。

図1 外国人駐在員生活費ランキング

世界順位	都市名	アジア順位	都市名
1位	香港	1位	香港
2位	ニューヨーク	2位	東京
3位	ジュネーブ	3位	上海
4位	ロンドン	4位	広州
5位	東京	5位	ソウル

出典：ECAインターナショナル「外国人駐在員の生活費ランキング」より作成

図2 為替相場の推移



出典：静岡銀行香港支店における月末仲値より作成

図3 価格比較

2022/11末為替 1HKD = 17.78円にて算出

商品名	購入価格 (HKD)	日本円換算	購入価格 (日本円)	備考
evian 500ml	10.8	192	148	
回転寿司 (1皿2貫)	12~	213	110~	鮮選寿司 (日系チェーン)
ダブルチーズバーガー	24.0	427	370	マクドナルド
Big Mac	25.5	453	410	
牛丼 (大盛)	50.5	898	635	吉野屋
かつ丼 (松)	85.0	1,511	935	かつや

出典：購入価格 (日本円) については各社HPより作成

香港の入境規制が緩和されて以降、日本からの出張者が徐々に増加しつつあるように感じています。長いコロナ禍を経て、久しぶりに香港を訪れる予定の方も多いのではないでしょうか。最近では入境規制がさらに緩和され、入境後に課されていた3日間の外食禁止措置も撤廃されています。今後は観光での入境者数も増加していくことが期待されています。

今回ご紹介した商品はほんの一例ですが、日本からいらっしゃる際の当地の物価水準として少しでも参考にできれば幸いです。

発行 山梨中央銀行
編集 山梨中銀経営コンサルティング

〒400-0031 甲府市丸の内一丁目20番8号
☎ (055) 224 - 1032
山梨中央銀行 URL:
<https://www.yamanashibank.co.jp/>

**山梨地方労働審議会
参 考 資 料**

**令和4年度第1回最低賃金専門部会
(山梨県電気機械器具製造業最低賃金)**

令和5年2月9日

参 考 資 料 目 次

1	山梨県婦人服製造業最低工賃の推移	1
2	山梨県貴金属製品製造業最低工賃の推移	3

山梨県婦人服製造業最低工賃の推移

山梨労働局

品目	改定状況 工 程	4年度 (5.5.5)	7年度 (8.5.4)	10年度 (11.5.6)	13年度 (14.5.4)	16年度	20年度 (21.5.1)	23年度 (24.4.21)	26年度	29年度 (30.5.4)	2年度 (3.5.5)
		工賃(上段) 改定率(下段)	工賃(上段) 改定率(下段)	工賃(上段) 改定率(下段)	工賃(上段) 改定率(下段)	見送り	工賃(上段) 改定率(下段)	工賃(上段) 改定率(下段)	見送り	工賃(上段) 改定率(下段)	工賃(上段) 改定率(下段)
ワンピース 上 衣 コ ー ト ス カ ー ト ス ラ ッ ク ス ブ ラ ウ ス	そで口あきみせまつり (1着につき)	7円	8円	9円	9円	—	9円	11円	—	12円	13円
		16.7%	14.3%	12.5%	0.0%		0.0%	22.2%		9.1%	8.3%
	千鳥掛け(間隔6mm以上) (5cmにつき)	6円	7円	7円	7円	—	7円	8円	—	9円	10円
		20.0%	16.7%	0.0%	0.0%		0.0%	14.3%		12.5%	11.1%
	星入れ (10cmにつき)	7円	9円	10円	10円	—	10円	12円	—	13円	14円
		40.0%	28.6%	11.1%	0.0%		0.0%	20.0%		8.3%	7.7%
	ボタン付け (根巻きなし2つ穴ボタン) (1個につき)	4円	5円	5円	5円	—	6円	6円	—	7円	8円
		33.3%	25.0%	0.0%	0.0%		20.0%	0.0%		16.7%	14.3%
	ボタン付け (根巻きあり4つ穴ボタン) (1個につき)									9円	10円
										—	11.1%
	かぎホック付け (1組につき)	8円	9円	10円	11円	—	11円	13円	—	14円	15円
		14.3%	12.5%	11.1%	10.0%		0.0%	18.2%		7.7%	7.1%
	スナップ付け (1組につき)	8円	9円	10円	11円	—	11円	13円	—	14円	15円
		14.3%	12.5%	11.1%	10.0%		0.0%	18.2%		7.7%	7.1%
	糸ループ付け(3cm) (1か所につき)	5円	5円	6円	6円	—	6円	7円	—		
		25.0%	0.0%	20.0%	0.0%		0.0%	16.7%			
糸ループ付け(3cm作り付け) (1か所につき)									8円	9円	
									—	12.5%	
糸ループ付け(5cm) (1か所)	6円	7円	7円	7円	—	7円	8円	—			
	20.0%	16.7%	0.0%	0.0%		0.0%	14.3%				
糸ループ付け(5cm作り付け) (1か所につき)									9円	10円	
									—	11.1%	
×印しつけ止め (1か所につき)	4円	5円	5円	5円	—	5円	6円	—	7円	10円	
	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%		0.0%	20.0%		16.7%	42.9%	
肩パット付け (1組につき)	20円	22円	24円	24円	—	30円	30円	—	33円	35円	
	11.1%	10.0%	9.1%	0.0%		25.0%	0.0%		10.0%	6.1%	

品目	改定状況 工 程	8年度 (9.5.2)	11年度 (12.5.4)	14年度	17年度	20年度 (21.5.1)	23年度 (24.4.21)	26年度	29年度 (30.5.4)	2年度 (3.5.5)
		工賃(上段) 改定率(下段)	工賃(上段) 改定率(下段)	見送り	見送り	工賃(上段) 改定率(下段)	工賃(上段) 改定率(下段)	見送り	工賃(上段) 改定率(下段)	工賃(上段) 改定率(下段)
婦人用M丸 首無地セー ター	オーバーロックミシンによる縫製長そで、肩・ そで及びわき (1着につき)	65円	66円	—	—	77円	77円	—	80円	85円
			1.5%			16.7%	0.0%		3.9%	6.3%
	リンキングミシンによる取付け 衿(ハイネックに限る)(12ゲージ) (1着につき)	58円	60円	—	—	70円	70円	—	70円	74円
		3.4%			16.7%	0.0%		0.0%	5.7%	
手かがり 衿(ハイネックに限る) (1着につき)	26円	29円	—	—	34円	34円	—	34円	36円	
		11.5%			17.2%	0.0%		0.0%	5.9%	

※()内の日付は発効年月日

貴金属製品製造業最低工賃の改正推移

品目	規格	年度別		15年度	18年度	21年度	24年度	27年度	30年度	R3年度
		工程	工賃額							
ピアス (プレス製に限る)	ろう付け	芯立て 削除 (H21~)	7円/1本	改正 見送り	改正 見送り	7円/1か所 -	改正 見送り	改正 見送り	改正 見送り	8円/1か所
	石留め(爪留め)	H21~1本当たり 1か所当たり	12円/1個							14.3%
リング ペンダント ブローチ イヤリング ピアス	ワックスどり ワックスパターン取 り(H21~)	パーツ(多数取りを含む) ゴム型(H21~)	5円/1個	改正 見送り	改正 見送り	6円/1個 10円/1個 20円/1個	改正 見送り	改正 見送り	改正 見送り	
		ゴム型2分割	10円/1個							
		ゴム型3分割以上	20円/1個							
	ワックスパターン取り (ゴム型に中子が発 生しないもの)		-	6円/1個	7円/1個	16.7%	8円/1個	14.3%		

【備考】品目は、いずれも金製品及び銀製品に限る。

…既に廃止されたもの

2段に分かれた欄の上段は改正額、下段は引上げ率。

山梨県電気機械器具製造業 最低工賃改正にあたっての労働者側基本見解

労働者側委員

山梨県電気機械器具製造業最低工賃の改正にあたり、労働者側委員は以下の基本的な見解に基づき、金額審議に臨みたいと考えておりますので、各側委員のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 基本方針

新型コロナウイルス感染症の蔓延が世界経済に大きな影響を及ぼすなか、電機産業をはじめ国内製造業もサプライチェーンの混乱や消費の低迷により厳しい状況が続いております。

そのようななかでも最低工賃は、①3年毎の改定であること ②山梨地方最低賃金や電気特定最低賃金が毎年引き上げられていること ③急激な物価の高騰 ④世界情勢の不安定等を考慮するとともに、「単価を上げて欲しい」という家内労働者からの声もあり、厳しい環境下で懸命な努力をしている家内労働者の工賃について、実態に即した現実的な水準設定を望みます。

2. 水準設定方針

1. 過去3年間における県内春季生活闘争賃上げ実績見合い（連合山梨調査：地場企業）

	2020年	2021年	2022年
規模計	1. 42%	1. 77%	2. 32%
300人以上	1. 56%	1. 59%	2. 59%
100～299人	1. 21%	1. 72%	1. 28%
100人未満	1. 11%	1. 75%	1. 43%

2. 地域別最低賃金・産業別最低賃金の推移

	「2020年」	→	「2022年」	
地域別最低賃金	838円		898円	7. 16%
電機産別最賃	914円		959円	4. 92%

以上

2023.2.9(木)

電気機械器具製造業家内労働部会

委託者側の見解

✓家内労働者に対する「工賃」(令和2年12月30日～)

ビニル線:54 銭 1ヶ所、コイル:83 銭/1ヶ所、コネクター:51 銭/1 端子

✓3年に一度の見直しであることに鑑み、相応の引き上げについて協議致したい。

一方、家内労働法の基本趣旨は、家内労働従事者の労働条件の向上と生活の安定が目的。「工賃」引き上げありきの議論になると、発注者による外注ボリュームの減少を招き結果として労働者の生活が脅かされる事態ともなり得ます。加えて現在の経済環境は物価高等で不透明でありその点からも慎重に協議すべきと考えます。

✓思いつく論点は、

山梨県の「工賃」が近隣県比突出しない事 ~ 山梨県の家内労働者への仕事が減るリスクを考慮。

この3年間の物価上昇～電気代等のコストは明らかに上昇している

発注者側の負担への配慮

今回の「関係者からの意見聴取(結果)」を基に、本日の審議に臨みたいと考えます。

宜しくお願い致します。

以上

公益委員案

令和5年2月9日

下記のとおり、公益委員案をとりまとめましたので、ここに提示します。

記

山梨県電気機械器具製造業最低工賃を次のように改正決定すること。

山梨県電気機械器具製造業最低工賃

1 適用する家内労働者

山梨県の区域内で電気機械器具製造業に係る業務に従事する家内労働者

2 適用する委託者

前号の家内労働者に前号の業務を委託する委託者

3 第1号の家内労働者に係る最低工賃額

次の表の品目欄、工程欄及び規格欄の区分に応じ、金額欄に掲げる金額

品 目	工 程	規 格	金 額	
ビニル線	端末加工	より及び予備はんだ付け	しん線の断面積が0.3平方ミリメートル以上2.0平方ミリメートル以下のもの	1か所につき 59銭
コイル	からげ (1か所につき、4回以内からげて切るものに限る)	線径0.3ミリメートル以上1.2ミリメートル以下のもの		1か所につき 89銭
コネクター	差し (リード線の端末に取り付けられた端子をコネクターに差し込むことをいう)			1端子につき 56銭

(案)

令和5年2月9日

山梨地方労働審議会
会長 小澤 義彦 殿

山梨地方労働審議会
最低工賃専門部会
部会長 八巻 佐知子

山梨県電気機械器具製造業最低工賃の改正決定について

本専門部会は、令和4年11月7日、山梨地方労働審議会において付託された山梨県電気機械器具製造業最低工賃の改正について、慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり結論に達したので報告する。

なお、本件の審議に当たった委員は下記のとおりである。

記

公益代表委員

八巻佐知子

今井 幸一

高橋 哲也

家内労働者代表委員

三輪 茂樹

小林 賢

白倉 範人

委託者代表委員

保坂 雅寛

佐藤 元章

峯岸 一郎

別紙

山梨県電気機械器具製造業最低工賃を次のように改正決定すること。

山梨県電気機械器具製造業最低工賃

1 適用する家内労働者

山梨県の区域内で電気機械器具製造業に係る業務に従事する家内労働者

2 適用する委託者

前号の家内労働者に前号の業務を委託する委託者

3 第1号の家内労働者に係る最低工賃額

次の表の品目欄、工程欄及び規格欄の区分に応じ、金額欄に掲げる金額

品 目	工 程		規 格	金 額
ビニル線	端末加工	より及び 予備はん だ付け	しん線の断面積が0.3平方ミリメートル以上2.0平方ミリメートル以下のもの	1か所につき 59銭
コイル	からげ (1か所につき、4回以内からげて切るものに限る)		線径0.3ミリメートル以上1.2ミリメートル以下のもの	1か所につき 89銭
コネクター	差し (リード線の端末に取り付けられた端子をコネクターに差し込むことをいう)			1端子につき 56銭

4 効力発生の日

法定どおり

山梨県電気機械器具製造業最低工賃改正に係る審議経過概要

区分	回	開催年月日	調査審議事項
家内労働部会	1	5 . 1 . 13	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長の選出及び部会長代理の指名 2 家内労働部会運営規程及び専決事項について 3 家内労働の現状及び第 14 次最低工賃改正計画について 4 電気機械器具製造業家内労働実態調査の結果について 5 電気機械器具製造業最低工賃改正決定の必要性の有無について、全会一致により改正決定することが必要であると決議された。
最低工賃専門部会	1	5 . 2 . 9	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長の選出及び部会長代理の指名 2 部会の運営等について 3 関係家内労働者及び委託者の意見聴取結果について 4 最低工賃設定項目について 5 最低工賃改正審議 6 最低工賃の改正決定について、全会一致で決議された。

本審	1	4 . 11 . 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 電気機械器具製造業最低工賃の改正等及び関連部会の設置について了承 2 家内労働部会委員及び最低工賃専門部会委員の指名について了承 3 家内労働部会等の決議をもって本審決議とする専決決議について了承
----	---	------------	--

(案)

令和5年2月9日

山梨労働局長
生方 勝 殿

山梨地方労働審議会
会長 小澤 義彦

山梨県電気機械器具製造業最低工賃の改正について(答申)

本審議会は、令和5年1月13日付け山梨労発基0113第1号をもって貴職から諮問のあった標記について、慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおりの結論に達したので答申する。

別紙

山梨県電気機械器具製造業最低工賃を次のように改正決定すること。

山梨県電気機械器具製造業最低工賃

1 適用する家内労働者

山梨県の区域内で電気機械器具製造業に係る業務に従事する家内労働者

2 適用する委託者

前号の家内労働者に前号の業務を委託する委託者

3 第1号の家内労働者に係る最低工賃額

次の表の品目欄、工程欄及び規格欄の区分に応じ、金額欄に掲げる金額

品 目	工 程		規 格	金 額
ビニル線	端末加工	より及び予備はんだ付け	しん線の断面積が0.3平方ミリメートル以上2.0平方ミリメートル以下のもの	1か所につき 59銭
コイル	からげ (1か所につき、4回以内からげて切るものに限る)		線径0.3ミリメートル以上1.2ミリメートル以下のもの	1か所につき 89銭
コネクター	差し (リード線の端末に取り付けられた端子をコネクターに差し込むことをいう)			1端子につき 56銭

4 効力発生の日

法定どおり

山梨県電気機械器具製造業最低工賃改正に係る審議経過概要

区分	回	開催年月日	調査審議事項
家内労働部会	1	5 . 1 . 13	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長の選出及び部会長代理の指名 2 家内労働部会運営規程及び専決事項について 3 家内労働の現状及び第 14 次最低工賃改正計画について 4 電気機械器具製造業家内労働実態調査の結果について 5 電気機械器具製造業最低工賃改正決定の必要性の有無について、全会一致により改正決定することが必要であると決議された。
最低工賃専門部会	1	5 . 2 . 9	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長の選出及び部会長代理の指名 2 部会の運営等について 3 関係家内労働者及び委託者の意見聴取結果について 4 最低工賃設定項目について 5 最低工賃改正審議 6 最低工賃の改正決定について、全会一致で決議された。

本審	1	4 . 11 . 7	<ol style="list-style-type: none"> 1 電気機械器具製造業最低工賃の改正等及び関連部会の設置について了承 2 家内労働部会委員及び最低工賃専門部会委員の指名について了承 3 家内労働部会等の決議をもって本審決議とする専決決議について了承
----	---	------------	--